大阪消防

OSAKA SHOBO

平成28年
8月号
NO.797





団体割引適用で割安！

～消防人生をずっと補償～

いざという時のために！

一般財団法人全国消防協会　職員福利厚生事業

消防職員・消防退職者のための保険

① 消防職員医療保険
団体割引適用 30%

医療保険基本特約付・疾病保険特約
・傷害保険特約セット　団体総合保険

募集時期■7～8月　2～3月　2～4月（新採用プラン）

② 消防職員傷害保険
団体割引適用 30%

総合補償特約セット
普通傷害保険・家庭傷害保険

③ 消防職員賠償責任保険
年間保険料 3,200円

救命救急士の専門業務も補償！

公務員賠償責任保険（消防職員危険担保特約条項、初期対応費用担保特約条項、保険料支払に関する特約条項）

募集時期■12～2月　7～8月

④ 消防職員がん保険
団体割引 20%

団体総合生活保険（がん補償）

募集時期■12～3月

⑤ 消防退職者医療保険
団体割引・損害率による割引等適用 約40%

団体総合生活保険（医療補償）

募集時期■12～3月

こちらは概要のご案内になります。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等についてご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。

全国の消防職員・ご家族の皆様とともに

全国消防保険サービス株式会社

一般財団法人 全国消防協会
損害保険取扱代理店

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 アーバンネット麹町ビル 5階　TEL.03-3234-1331（代）

引受保険会社　・損害保険ジャパン日本興亜株式会社・東京海上日動火災保険株式会社

「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

SJNK15-15088（2015.01.21）
15-T11232（2016年2月作成）

KOTONOHA
ことのは



東成防火協力会会長
有光工業株式会社代表取締役社長
有光　幸紀

ものづくりの町

古代の大阪は、上町台地が北に突き出る形で半島状の地形になっており、その周囲には浅瀬の内海が広がっていました。その内海に河川が押し流してくる流砂が積み重なり、干潟が生まれ、沼地が生まれ、やがて陸地が内陸の東側へと広がり土地を生み広げてきたことから「東生（ひがしなり）」と呼ばれる地域となり、やがて東成区の地名の由来になったと言われています。

古歌には「ぬひたへる心深江のすけ小笠　天の下にぞ名はみちにける（千種中納言）」などがあるように、この地域には沼地が広がっていたころから菅の栽培が盛んで、傘を縫うことを職業とした笠縫氏の一族が深江の地に集団で住むようになり代々菅笠を作ったことから笠縫島の地名が生まれ、江戸中期には伊勢参りが盛んになり一般道中用の菅笠が全国に広がり非常に栄えたといわれています。

菅笠だけでなく東成区は古くからものづくりの盛んな地域で、特に鋳物製造が盛んで、深江稲荷神社は別名鋳物御祖神社とよばれ火焚祭が行われており、この地域に鋳物工業が発達してきた歴史が今に続いています。

このように、この東成区は製造業とともに発展して、古くから火とともに栄えてきた歴史があり、そのため、火に対する感謝の心を抱くとともに火に対する恐れを強く持っていると考えられます。この意識が長年受け継がれ、現代でいう防火意識へとつながっており、地元企業だけでなく地域住民のコミュニティーにおいても防火意識が高く、現在に至っています。

我々自身が火災を起こさないように「火の用心」を心掛けるとともに、地域では放火撲滅にも取り組んでいます。また、大規模地震などの自然災害の発生に備えて防災意識の向上を図っており、各種訓練で地域防災リーダーや女性防火クラブを拝見する折には大変頼もしく感じています。

この歴史ある地域を大切にし、地元企業と地域住民が今まで以上に協力して安全で安心して暮らせる東成を築き守っていきたいと切に願っています。



深江稲荷神社

平成２８年度危険物安全週間催事　6月5日～11日















平成２８年度警防技術練成会表彰式

6月24日
消防局

６月 14 日、高度専門教育訓練センターにおいて実施された平成 28 年度警防技術練成会の表彰式が行われた。

＊最優秀　　西消防署　　＊優　秀　　都島消防署・生野消防署







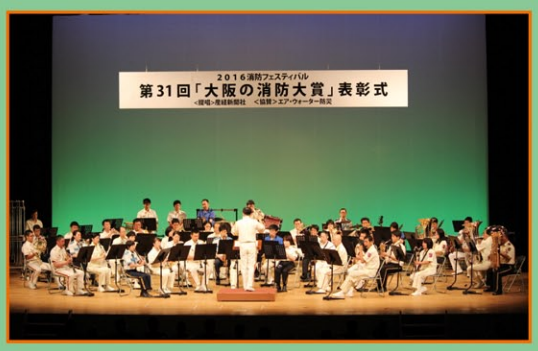
第31回「大阪の消防大賞」受賞式

7月2日
大阪国際交流センター

山間部で発生した救助事案において、当局の警防課（４名）及び平野消防署（２名）が、河内長野市消防本部と連携してヘリを活用し救出活動を行った功績により受賞した。



消防司令補　小西　勝也（平野）
消防士長　礒　　優（警防課）消防司令補　居相　政喜（平野）
藤井消防局長　　田中副市長





\#7119/ 救急安心センターおおさかだより

今月は、救急安心センターおおさかに相談後、119番に転送され緊急入院となった事例のうち、生命に危険を及ぼす可能性が高い2つの代表的な疾患についての事例をご紹介します。



＜心疾患＞
【事例1】
７５歳男性：数時間前から左肩の痛みが治まらない。
⇒急性心筋梗塞

【事例2】
６０歳男性：１時間ほど前から、急に上腹部の痛みが生じ治まらない。
⇒解離性大動脈瘤

＜脳血管疾患＞
【事例3】
６３歳女性：１時間ほど前から、自宅でめまい・左半身のしびれが治まらない。
⇒脳梗塞

【事例4】
８８歳女性：昨日から呂律が回りにくくなり、現在も症状が治まらない。
⇒脳出血

これらは昨年８月頃の事例で、いずれも看護師からの迅速な119番転送により救急車が出動し緊急入院となりましたが、病院搬送後の適切な治療により、後日軽快退院となりました。

●救急安心センターおおさかからのアドバイス

「心疾患」「脳血管疾患」は、いずれも対応が遅れると生命に重大な危険を及ぼす可能性が高い疾患です。体に通常とは異なる異変を感じた時は、「救急安心センターおおさか」を活用するなど、できる限り早期に対処するよう心がけてください。

まだまだ、毎日暑い日が続いていますが、体調管理に十分注意して、元気に夏を過ごしましょう。



大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
６月中合計	2	2	14	31	49	1	0	0	7	57
平成28年６月末累計	14	14	88	210	326	30	0	2	86	444

◎救急概況

	救急出場
６月中件数（概数）	17,921
平成28年6月末累計	110,064

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の消防活動
平成28年6月末累計	1,528	563	4	636

CONTENTS

August 2016
No.797

大阪消防 8

表紙：四天王寺・（布袋尊）／編集部

01	ことのは　ものづくりの町	有光幸紀
02	グラビア　平成28年度危険物安全週間催事	編集部
03	グラビア　平成28年度警防技術練成会表彰式／第31回「大阪の消防大賞」受賞式	編集部
04	救急安心センターおおさかだより	救急課
04	災害概況	警防課
05	コンテンツ	編集部
07	特集　IFCAA 2016 OSAKA の開催結果について	総務課
08	いらっしゃい、大阪消防です！ 南本　庸介さんを訪ねて	編集部
11	ニュースカプセル「インバウンド」って何？	藤井英一 イラスト・山田いつか
12	「昭和」24面相 1991年「第1次湾岸戦争」勃発	信濃　文
14	みんなで備えるコミュニティ防災（11）　災害時に備える水や食料の備蓄	由田克士
15	レスキューナースからのメッセージ（5）　防災キャンプ、なくてもやる	辻　直美
16	コマンドアイ　行うべき活動、臨機応変な活動	南方面隊
18	キセイカナビ　自動火災報知設備の設置基準について〜昇任試験対策編〜	規制課
19	環状線	各所属
26	大阪の消防NEWS	和泉市・茨木市・守口市門真市消防組合・吹田市各消防本部
28	職務①　応急手当の普及啓発について	救急課
30	職務②　平成28年熊本地震緊急消防援助隊「大阪府大隊」活動概要	警防課
34	職務③　平成27年中の規制対象物における火災発生状況（1）	予防課
36	職務④　平成28年度大阪府下消防長会事業推進委員会事業	大阪府下消防長会
38	大阪市防火管理協会からのお知らせ	編集部
39	自衛消防隊紹介	北　区
39	女性防火クラブだより	福島区
40	大阪市消防局災害活動支援隊	総務課・警防課
41	マイライフスタイル　ライフセーバーに魅せられて	玉木力也
42	SAQトレーニング（1）　ジャンプ&バック	高度専門教育訓練センター
43	健康ダイヤリー　尿酸値が高い！	人事課
44	平成28年度「防火・防災図画」の募集について	編集部
44	平成28年度大阪市防火標語決定！	編集部
45	親睦会だより　第56回三都市消防親善ボウリング大会	大阪市消防職員親睦会
45	お知らせ　大阪市消防局メールマガジン会員募集	予防課
46	功績表彰	人事課
48	大阪めぐり（表紙絵）・編集室	編集部



IFCAA 2016 消防防災・国際救助隊合同訓練

魅せるSHOW防

近年アジア地域で頻発している地震、津波、洪水などの大規模自然災害に対し、的確に対応できるよう各国の救助技術レベルの向上を図るとともに、被災地に派遣された消防隊が迅速に救助活動ができるよう、各国間の連携強化を図ることを目的とした訓練を実施いたしました。








IFCAA 2016 消防ふれあいフェスティバル

わかるSHOW防

消防車や消防の仕事を身近に感じてもらうエリアで、普段はなかなかできない「はしご車乗車体験」や、いざという時に知ってて良かった「応急手当体験」など、お子様から大人まで楽しく消防・防災を学んでいただきました。










特集

IFCAA 2016 OSAKA の開催結果について



←たすける kun

IFCAA 2016 OSAKA 実行委員会事務局【大阪市消防局総務課内】

Main Theme：未来へ繋げるアジアの消防

ごあいさつ

「未来へ繋げるアジアの消防」をテーマに、平成28年6月8日（水）から11日（土）までの4日間、大阪市南港地区において、「IFCAA 2016 OSAKA」が、日本を含むアジア・オセアニアの15か国・2地域の消防関係者が一堂に会して行う国際会議や訓練、一般の皆さまが参加・見学できる各種イベントなどを開催いたしました。

特に、6月10日（金）及び11日（土）には、日本とアジア各国の消防隊員が救助技術を披露する「消防防災・国際救助隊合同訓練」や最新の消防機器の展示会である「大阪国際消防防災展」、お子様にも楽しんでいただける「消防ふれあいフェスティバル」の3つのイベントを開催いたしましたが、2日間で5万人以上の来場者を数え、大盛況のうちに閉幕いたしました。

改めまして、「IFCAA 2016 OSAKA」の開催に当たりまして、様々な場面で格段のご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございました。







IFCAA 2016 大阪国際消防防災展

役立つSHOW防

最新の消防・救助・救急資器材、消防防災システム、防災用品などを紹介し、最先端の知識・技術の交流を図るとともに、日常生活における災害への備えにつなげることを目的に開催いたしました。







©TOMY 「トミカ」は株式会社タカラトミーの登録商標です。







向吉　悠睦さんからの紹介
『　南本　庸介さんを訪ねて　』



株式会社太鼓正　代表取締役
南本（みなみもと）　庸介（ようすけ）さん

和太鼓との出会いは

学生時代は父の手伝いをしていましたが、他で働いておりました。15年前に父が亡くなりましたのを機に、江戸時代から浪速の地で受け継がれてきた伝統の「技」を続けていくために家業を継ぎました。

和太鼓と言っても、種類は沢山あります。和太鼓と言えば長胴（ながどう）太鼓と思われている方が多いと思います。長胴太鼓は日本人にとって馴染みの深い太鼓で、大きなものでは6尺（180㎝）ほどのものもありますが、一般的には1～2尺のものが多く、音質、音量、見た目の存在感等、全てが優れています。

平太鼓は長胴太鼓と同じ手法で作りますが、胴が短くて平たいのでこの名で呼ばれます。吊り台、ブショウ台、立台などの台により演奏のバリエーションが拡がり、長胴太鼓と合わせて「お囃子」に使われることがあります。

大太鼓は、樹齢数百年の巨木をくりぬき、片面に牛一頭分の皮を張って作りますので存在感があり、大地の生命を宿す魂の響きが生み出す大音響は大気を震わせて果てしない宇宙を感じさせるくらいに壮大ですが、傍らで子どもが寝入ってしまうやさしい響きとなるのは、その周波数が母の胎内で感じていた心拍音に近いためだと思います。

楽太鼓は、雅楽で使われる平太鼓に彩色されたもので、和太鼓とともに雅楽が奈良時代に中国から伝わったものが起源とされています。また神楽太鼓も平太鼓に漆を塗ったもので、神社仏閣で使われるもので、吊り下げる枠に火焔のような装飾が施されているので、火焔太鼓とも呼ばれています。

仙法（せんぽう）太鼓は鏡（面）の大きさに関係なく、3寸5分（約11㎝）で、重さも軽くしてあります。仏事に使われている他、応援やチンドンの鳴物、古くは忠臣蔵の討ち入りの際に大石内蔵助が打ち鳴らした陣太鼓はこの太鼓です。

締太鼓には剛の「附はやし締太鼓」と柔の「民謡締太鼓」があります。長胴太鼓のような力強い連打には不向きですが、蒔絵を施した華やかな装飾が美しく、能囃子や民謡のお囃子等、古典雅楽全般に使われています。

この他には、小鼓等を作っています。



胴の材料は

胴の材料はいろいろありますが、堅くて木目の美しい欅が最高で栃木や福島から仕入れています。

1・5m以上の原木を選り出して、節目や木の痛みがある部分を避けて、胴の中心を

見極めてくりぬきます。太鼓の形にした後、変形や割れを防ぐため最低でも5～6年は自然乾燥したものを使います。

十分に乾燥した胴を鉋で削り、木目がより美しく見えるように仕上げます。その後、砥の粉とニスで、イメージする色合いに仕上げます。

太鼓の主役は皮です



胴の内側に金箔が施されて、拍手の響きも良かった和太鼓（右側）。

鼓には馬の皮を使う事もありますが、皮の中でも牛皮が最適です。強くて特に牧場に居る種牛の皮が最高です。最近の国産の牛より、海外の牧場で育った健康な牛の皮の方が質が良いですね。

毛抜きをしてから半年以上、型に張って日干しをします。干物にすることで保存がきくし、半年以上すると繊維が安定してきます。

皮は背中の部分が良いとされていますが、目で素材を吟味し、手で厚みを確かめて、どの部分を使うのが良いか見極めています。

仕上げは皮すきで、厚みを均一にするために皮の裏側を鉋で削ります。この作業が太鼓作りでは一番感性が必要で職人の技の見せ所ですが、大変繊細な作業です。

皮張り

胴に皮を張る作業が、太鼓作りの花形作業です。小さいものなら二人で行い、大きくなるにつれて職人さんの数を増やして行います。

皮を踏み伸ばして木槌を使い分けながら、仕上がりの音をイメージしながら張り上げていきます。力が必要ですが、力いっぱいやれば良いというものではなく、均一に伸ばしながら、叩いて耳で確かめていくコツと技術が必要です。

※ちょうどインタビューの最中に、軽やかな桴さばきで太鼓を打つ音が聞こえてきて、自然に体が浮き立つような感覚にとらわれて、早速、作業されているところを見学させて頂きました。お二人の息もピッタリで、軽快な桴さばきで太鼓を打つ音に合わせて周りに張られたロープを微妙に締めながら太鼓の周りを回って少しづつ締めておられたが、花形作業とお聞きしたとおり、職人さんの技が到るところに散りばめられていると感じました。職人さんの邪魔にならないように写真撮影をさせて頂きながら、和太鼓の





音色に酔っていました。

鋲打ちとふち切り

十分に調整した皮の張りをしっかりと固定するために、正確に素早く鋲を打ち込む作業も、仕上げに、研ぎ澄まされた特殊な包丁で皮を切り取る作業も、一流の職人さんの経験と技が必要です。

桴（ばち）

桴は、樫、桜、楠、桧、ヒバ等、材質は沢山ありますし形についても千差万別で、注文通りに仕上げます。楽太鼓には皮巻きの桴、神楽太鼓にはフェルトをまいた桴で、めんに施されている装飾を傷つけない物を作っています。

胴は一生もの

皮は消耗品で、いずれは破れたり、皮が伸びて張り替えが必要となりますが、胴は一生ものです。大切に扱えば何百年も使用可能です。実際に、江戸時代に作られた太鼓の胴が、今も現役で使われており、皮の張り替えの為に持ち込まれる事があります。

良い音を奏でる太鼓

胴となる木、張られた皮、太鼓の材料は自然のもので手作りですから、出来上がる太鼓は「全く同じもの」は一つとしてありません。繊細な楽器ですが、その反面、何百年も使える耐久性に優れた楽器でもあります。

保管場所や方法は、基本的に人間が心地良い、温度と湿度のバランスが取れている場所がベストです。皮の部分は湿気と高温を嫌いますので、梅雨時期は風通しの良い湿気の籠らない所。真夏には直射日光の当たらない所。冬には、毛布を一枚巻き付けるくらいの保温をすれば、長い年月使って頂けると思います。

実際、数々の日本の伝統芸術、祭事と共に息づいて来た百年以上前に作られた太鼓が、修理に持ち込まれて、新たな息吹を得て戻って行く事が多々あります。

自分達が手掛けた太鼓が伝統文化を支え、守り、歳月を越えて使われていく事が我々の使命であり誇りでもあります。

六尺の大太鼓

※最後に六尺の大太鼓を見せて頂く事になり、案内して頂く途中に可愛い胴が並べてありましたのでお尋ねしますと、「子供さん用の玩具太鼓ですが、作り方は本物の和太鼓と同じ天然木材をくりぬき、牛皮を張って、昔ながらの製法で手作りしています」と、説明頂いた。胴が乾燥されている所だったようです。和太鼓の音色は、子どもの虫封じに良いといわれて、出生祝いに使われているようです。

六尺の大太鼓は、見上げる大きさで前に立つと圧倒されます。すごい迫力があって叩かせて頂いたが、桴は半端じゃなく桐製のグリップ付の小さなバットを持ったようで緊張しながら……、心に響く音色でした。

技と想いが聴こえる太鼓づくり

良い太鼓を作るための技と心を、後の担い手に継承していく事も、大切な役割です。この道四十年のベテラン職人さんを筆頭に心を一つにして、「精一杯、愛情をこめて作っている」「大切に使って欲しい」。この想いを太鼓の響きから感じて頂ける事を、心から願っています。

（文中の※明朝体の部分は、編集者が感じた事です）



ニュース・カプセル

コラムで、現代の世相を斬る！

コラムニスト藤井氏によるニュース解説と、
その背景にうごめく時代の渦を照らします。

第28回

「インバウンド」って何？

◎コラムニスト　藤井　英一

報道機関の不見識

何でも「カタカナ」にするのは、いかがなものか。ましてや報道機関が、日常使われている立派な言葉（漢字）を押しのけて安易に使用するのは、見識に欠ける。最近の悪しき例のひとつが「インバウンド」。その意味は「外国人観光客」。新聞や放送局の見出は手のひらを返したように「インバウンド」。昔ヒットした「シーサイド・バウンド」を覚えている世代には、突然「インバウンド」といわれても、長髪を振り乱しエレキをかき鳴らすGSの印象しか湧いてこないのだが。

明治知識人の見識

鎖国を解き、西欧文明を求めた明治時代の知識人は見識があった。彼らは〝輸入した〟新たな概念のほとんどすべてを、日本語（漢字）に置き換えたからである。言葉が文明の道具だとすれば、自国の誇りを守ったともいえる。

もちろん、「カタカナ」が多用されるのは、今に始まったことではない。業界によっては、カタカナだらけのところもあり、仕事の名前にもカタカナ職種が多くなっている現実もある。何せ、明治と平成では国際化の度合いも桁違い。〝日本語変換〟も追いつかないのだろうか。

暗い、日本語の未来

社内会話を英語で統一する企業も、生まれている。しかしそのことと、日本語（日本文明）を美しく守ることとは別のことであろう。

爆買中国人急増など、ここ1、2年、外国人観光客の記事がにぎやかだ。受け皿容量を大幅に超える大量来日の混乱も深刻だが、これはいずれ収まる。

しかし、「外国人観光客」をある日突然「インバウンド」といってはばからない「日本語流通の混乱」は、知の停滞であり、情けない。



イラスト：山田いつか

「昭和」から「平成」に代わってすぐの1990年8月2日。フセイン大統領のイラク軍が、クウェートに進攻した。これが91年1月17日に始まり2月28日に米大統領が勝利宣言した第1次湾岸戦争の導火線となった。米国を核とする多国籍軍対イラクの構図。10年後の2001年9月11日、今度は米国の中心部を航空機を使った同時多発テロが襲った。03年3月19日、米国などの有志国が、「大量破壊兵器所持の『ならずもの国家』を許すな」と、再びイラクと戦争してフセイン政権を打倒した。第2次湾岸戦争だ。91年末、共産主義国家の雄・ソ連が崩壊、東西冷戦が歴史の舞台から退場した。世界政治の歯車が大きな音を立てて動いた。そこで今回は、この湾岸戦争を「昭和」24面相の番外編として、お届けする。

「昭和」24面相

番外編

ジャーナリスト
信濃 文

1991年 「第1次湾岸戦争」勃発

【第16回】

米国・父ブッシュが開戦

憲法の手前、軍資金のみ

第1次湾岸戦争時、日本は海部俊樹内閣。まだまだ憲法9条が威厳を持ち、自衛隊の海外派兵はタブーだった。父ブッシュ米大統領から盛んに戦争への協力を求められるが、憲法で金縛り。一方で、日米安保条約の同盟国として米国に「やる気」を見せなくてはならない。

悩み抜いた末に実行したのが多額の軍資金提供。だが、この手を汚さない作戦は、欧米有志国の評判が悪かった。「自分たちは血を流しているのに、金満国日本は金で済ませようとしている」と。

9・11テロ「これは戦争だ」

01年9月11日。ニューヨークをはじめアメリカ中心部で、ハイジャックされた航空機テロが相次ぎ、甚大な被害が巻き起った。「これは戦争だ」と叫んだ米大統領は奇しくも息子ブッシュ。その1年半後の03年3月19日、米国と有志国軍がイラクに対して開戦。

まもなくフセイン政権は倒れたが、開戦の大義である「イスラム過激派アルカイダ」との関連や「大量化学兵器」は見つからなかった。

政権打倒後もゲリラ活動が絶えず、イラクからの撤退まで、イタチごっこの戦い。米国は手を焼いた。

メディア埋め込み取材の課題

戦争時のメディアの在り方も問われた。米軍などの地上軍は、進攻時に日本を含む世界のメディア(記者やカメラマン)の「エンベッド(埋め込み)取材」を初めて実施した。端的に言えば、進攻チームとメディアが一体行動をとるのだ。

軍と一心同体とならざるを得ない記者たちの、硝煙立ちこめる生々しい描写。大量破壊兵器存在の神話が通用していた時期。生死が絡む軍に埋め込まれた一体的行動の中で、記者たちはどのようにして「客観報道」が担保することができるというのであろうか。戦争報道の在り方、報道する者の居場所が、改めて課題となった。

東西冷戦の雄、ソ連が崩壊



戦争に伴う犠牲の覚悟を、テレビで国民に呼びかけるフセイン大統領（1991年1月6日）
＝毎日新聞社刊「20世紀年表」より

特措法で「参加」

第2次湾岸戦争時は小泉純一郎内閣時代。10年前の国際批判をかわすためひねり出したのが、特別措置法。

直接戦闘行為をさせるわけにはいかないが、近くの海域で多国籍軍の艦艇に自衛艦が給油する「参加」。さらには、陸自部隊をイラクの非戦闘地域に直接駐留させ、道路整備や水道敷設など民生支援に当たらせた。

自衛隊による初の駐留だけに、憲法との整合性を厳しく問う世論。国会での激しい論戦が記憶に残っている。

時を経て、昨年9月19日。安保関連法が成立した。自衛隊の海外派遣を根拠づける戦後初の恒久法である。

「昭和」24面相13回で紹介した国連ボランティア名誉大使の中田武仁さんが、5月23日に亡くなられました。

ニュース

野間宏さん死去（1月）▽中川一政さん死去（2月）▽関電美浜原発2号機の冷却水漏れ事故、後に蒸気発生器ギロチン破断と判明（2月）▽グレアム・グリーンさん死去（3月）▽小松基地騒音訴訟で、金沢地裁が15年余ぶり過去の被害を認める判決（3月）▽広島市で橋桁落下事故で14人死亡（3月）▽升田幸三さん死去（4月）▽牛肉、オレンジの輸入自由化（4月）▽東京都知事選で鈴木俊一知事が4選（4月）▽政府が掃海艇ペルシャ湾派遣を正式決定（4月）▽地価税法が成立（4月）▽消費税法改正成立（5月）▽信楽高原鉄道で正面衝突事故、死者42人（5月）▽東海大病院安楽死事件、明るみに（5月）▽選挙遊説中、ラジブ・ガンジー元首相が暗殺される（5月）▽ココムが輸出制限品目を大幅緩和（5月）▽明大入試替え玉事件で職員と学生の3人逮捕（5月）▽アンゴラ和平協定（5月）▽アンリ・ルフェーブルさん死去（6月）▽雲仙普賢岳で火砕流、報道関係者ら死者・不明43人（6月）▽ロシア大統領選でエリツィンさん当選（6月）▽南アのアパルトヘイト法廃止（6月）▽ドイツがベルリン遷都決定（6月）▽野村證券が大口投資家らに160億円の損失補てんをしていたことが判明（6月）▽スロベニアとクロアチアがユーゴ連邦からの一方的離脱と独立を宣言（6月）▽1992年から使用の全小学校教科書に「日の丸が国旗、君が代が国家」と記述（6月）▽ワルシャワ条約機構が解体（7月）▽イトマン事件で河村前社長ら6人逮捕（7月）▽富士・旧埼玉・東海銀行の巨額不正融資事件発覚（7月）▽米ソSTART調印（7月）▽本田宗一郎さん死去（8月）▽ソ連副大統領ら保守派クーデター、3日で失敗（8月）▽ゴルバチョフ書記長が辞任、ソ連共産党に解散勧告（8月）▽マイルス・デービスさん死去（9月）▽軟禁中のアウン・サン・スー・チーさんにノーベル平和賞（10月）▽ボスニアとヘルツェゴビナがユーゴから独立宣言（10月）▽宮沢喜一内閣発足（11月）▽イブ・モンタンさん死去（11月）▽ゴルバチョフ大統領辞任、ソ連消滅宣言（12月）＝毎日新聞社刊「20世紀年表」より

みんなで備えるコミュニティ防災（11）

災害時に備える水や食料の備蓄



由田　克士（よしだ　かつし）
大阪市立大学大学院
生活科学研究科
〔食・健康科学講座
公衆栄養学〕

望ましい水や食料の備蓄は7日分以上

将来の発生が予測されている南海トラフ地震の被害想定（最悪の場合）によれば、外部からの支援が開始されるまでに約一週間の時間を要することが指摘されています。このため、大阪府の検討部会報告では、府民に対し日頃より7日分以上の水や食料の備蓄を呼びかけています。

自助や共助による水や食料の備蓄

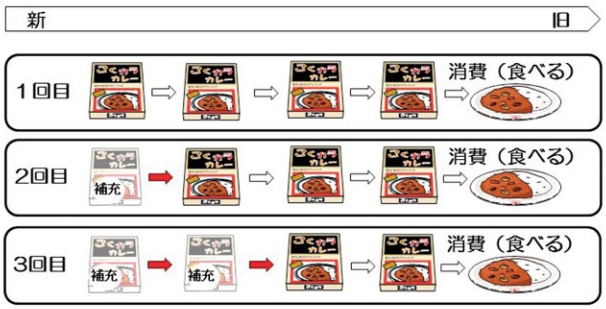
水や食料の備蓄については、大きく3つの枠組みが考えられます。1つ目は自分（自分たち）自身で準備しておく「自助」、2つ目は近所（町内会など）や職場単位などで共同して備蓄する「共助」、さらに3つ目は市町村や都道府県といった自治体レベルの「公助」です。よく「公助」に強い期待を持っている（過信している）方々も多いのですが、災害時には地域内全体が被災し混乱することから、十分な救援が得られる保証はありません。水や食料の備蓄・確保は、あくまでも「自助」もしくは「共助」が基本であると理解しておきましょう。

何をどれだけ備蓄するのでしょうか

では、具体的に何をどの位備えておけば良いのでしょうか。まず、水ですが、人が生きるためには、1人1日約3リットル（調理に用いる水も含む）が必要とされています。4人家族の場合であれば7日分として84リットルを確保しておくことが求められます。食料ですが同様に4人家族7日分の場合、主食として84食分（パック入りご飯、乾パン、乾麺などを適宜組み合わせる）、主菜84食分（魚介類や肉類の味付け缶詰、レトルトカレーなど）、汁物・スープ類56食分（即席みそ汁、スープ類など）、野菜ジュース28缶、間食類として28食分程度（ビスケット、キャラメル、あめなど）となります。また、家族の中に乳児や食事に対して特別な配慮が必要な高齢者や患者が含まれる場合には、粉ミルク、レトルトのお粥、エネルギーや栄養素をコントロールした食品なども準備しておきましょう。

ローリングストック

家庭で備蓄する水や食品は、必ずしも長期間保存可能な製品でなくとも、一般に市販されているパック入りご飯、乾麺、カップ麺、缶詰、乾物、菓子類、ミネラルウォーターなどを組み合わせて購入しておき、それぞれの消費期限が近づいた頃に通常の食事の中で利用し、新たなものを購入して備蓄を継続します。このような対応のことを「ローリングストック」（図1）と呼びます。比較的安価で無駄のない備蓄方法であると言えるでしょう。



ローリングストックとは「ローリング（rolling）＝回転させる」と「ストック（stock）＝蓄える」を組み合わせた言葉で、古いものから使って新しいものに入れ替える食料備蓄法のことです。

図1．ローリングストック（レトルトカレー）

レスキューナースからのメッセージ



国際災害レスキューナース
辻　直美

vol.5

防災キャンプ、なくてもやる

今年は例年にない暑さになるようです。水不足や大水害、震度三以上の地震も発生している中、吹田市主催で、一般公募で集まった小３～小６の子供たちと【生き抜く為のサバイバルキャンプ防災講座】、親と一緒の時に被災するとも限らないので、１泊２日、子供のみの参加で開催しました。



都会っ子たちにとって、ライフラインが切れるのは想像もできない事。携帯やテレビ、ゲーム、ＳＮＳがない生活など有り得ない。「ないから出来ない」ではなく「なくてもやる」体感が大事だと思うのです。防災の基本は【コミュニケーションをとる】知らない人でも協力して目の前の問題に取り組んでいかなきゃならない。自分の立つ位置、出来る事を明確にし、最短時間で最大限の結果を得る。

このレッスン内容【なくても代用を知る為】を、遊びを通じて体感できるように、簡易トイレ、シーチキン缶詰でキャンドル、単三電池を単一電池に変える、新聞スリッパの作成、などを体験してもらいました。

簡易トイレと電池については、いろんなものをたくさん用意しこちらからはあえて何の説明もせず、自分たちグループの力だけで作り上げることを目標にしました。

３０分間、正直子供たちでできるとは思っていませんでした。しかし、予想をいい意味で大きく裏切り、完成度の高いものを作り上げてきました。子供たちの頭の柔らかさ、発想力は大人にはないものがあります。

その芽を摘んでいるのは実は大人かも？子供に学ぶものは ほんとにたくさんあることを実感しました。

単３電池を常備している家庭は多いけれど、非常時に必要な懐中電灯やラジオは単１電池を使うものが多いのに常備している家庭は少ないのです。単３電池しかなかったらどうする？なくても、いろんな物を使って代用する。このスタンスは現代の社会ではなかなか実践されません。

まず単１電池と単３電池は長さと太さが全く違います。そこには電流が流れなくてはいけない。そして周りに漏電してもいけない。そこで子供たちが使ったのはアルミホイルでした。アルミは電気を通す手軽な材料、固定に使ったのはストロー。これは絶縁物質なので電気を通さない。ストローを切り単三電池を入れ－電極のほうにアルミホイルを丸めて詰めて長さを単三電池から単一電池に合わせていました。次に、紙、布、ゴム、養生テープを使って太さを合わせていました。どれも絶縁物質で安全！私が一番感心したのは養生テープの仕様！きっちりと巻いていないところがミソ！なぜならば養生テープは防災生活において大事なもの。少しでもうまく使って節制したい。養生テープは固めの材質なので、雑に巻くことで隙間ができます。それを子供が考えたのだから、ほんとに素晴らしい。



大人はただ使えたらいいと言う観点で代用品を使って作りますが、子供は利便性やデザイン、大人が考えることもないような観点から代用品を作ります。こういう頭の柔らかさは、避難生活において非常に役立ちます。

コマンドアイ

様々な事案から災害活動を振り返る

南方面隊

COMMAND EYE

今回は、直前に発生した隣接署での火災に救助隊・消火隊が出場中という悪条件下で、H管内の2階建一般住宅2階部分から出火し、2階1室に家人2名が取り残された火災において、最先着となった梯子小隊の臨機応変な活動と、先着の救急隊等により入手した重要情報に基づき、後着の救助隊と消火隊が連携した活動を実施し、要救助者2名を無事に救出すると共に、火災を早期に制圧した事例を紹介する。

今回のテーマ

行うべき活動、臨機応変な活動

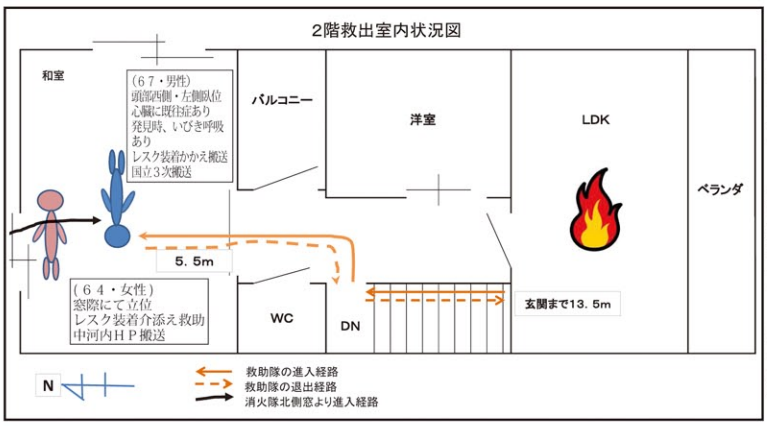
災害概況

- **覚知日時** 2月28日（日）8時33分
- **鎮圧日時** 2月28日（日）9時06分
- **焼損程度** 木造カラーベスト葺サイディングボード張2階建住宅建100㎡延200㎡のうち2階60㎡焼損 小屋裏40㎡焼損 その他類焼棟2棟 計3棟60㎡焼損 108㎡表面焼損
- **被救出者** 67歳男性 顔面Ⅲ度5％熱傷・気道熱傷疑（重症）
  63歳女性 気道熱傷疑（重症）

消火隊と救助隊の連携した救出活動

B消火隊が消火栓部署し、ホース延長している時、火元建物北側2階の窓際に立っている要救助者1名を確認、小隊長は無線で「北側2階に要救助者1名あり」と指揮本部に即報すると共に、折りたたみ式梯子を架梯、隊員に2階窓からの救出を指示した。

B消火隊員が登はんし始めた頃、北側の部屋に進入していたA救助隊が、意識のある要救助者と意識のない要救助者の2名を発見し、「2階に要救助者2名発見」と無線で指揮本部に即報すると共に、2名の要救助者にレスクマスクを装着した。A救助隊長は救出経路としてB消火隊の架梯した梯子を使用しようとしたが、壁と建物の間隙が狭く意識のない要救助者がいることから、これを断念した。B消火隊の隊員が梯子を登はんしてくると、B消火隊員の呼吸器面体を意識のある要救助者へ装着するよう指示するとともに、B消火隊員の持っていたガンタイプノズルを受け取ったA救助隊員は出火室に向かって冷却放水を実施。進入してきた屋内階段の熱気と煙が弱くなったところで、ガンタイプノズルを



B消火隊員へ手渡し、A救助隊4名で屋内階段から一気に要救助者2名を地上へ救出、その後B消火隊員は出火室の主火力制圧を図った。

A救助隊とB消火隊の連携した救助活動は功績に該当する結果となったが、この活動がスムーズに進行したのには、次に述べる各先着隊の初動活動が重要なポイントとなっていた。

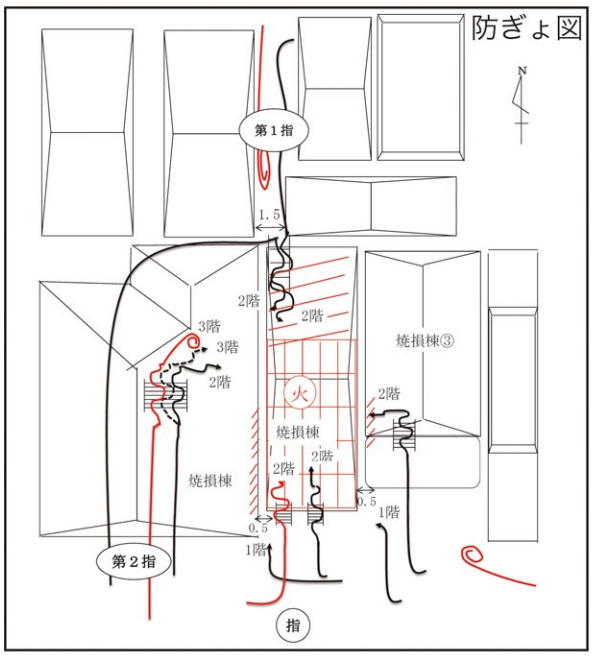
先着隊の活動状況

「H管内火災指令」H本署に火災指令が流れた。指令場所は、本署から近く、直前に発生した隣接署の火災に本署の救助隊と消火隊が出場した直後で、あいにくH本署に残っていたのは指揮車、梯子小隊、救急隊のみで消火隊の直近隊、中継隊は、管内北側と南側に位置する出張所消火隊で、到着には時間を要する距離であった。

各隊が出場して間もなく、指令情報センターから「高所カメラ情報黒煙あり」の無線情報が流れ、本署から出場した梯子小隊も走行中黒煙を確認し「西側走行中黒煙あり」と炎上火災であることを即報した。

救急隊と梯子隊は、ほぼ同時に最先着し、直近・中継隊の到着が遅れると予測し、この時点で梯子車を活用した活動は必要ないと判断した（本火災にはY梯子小隊も出場していた）梯子小隊長は、直近隊が到着した際の中継送水を視野に入れて梯子車を消火栓部署させ中継送水体制をとり、その後直ちに救急隊と協力して情報収集活動に従事し、「行方不明者2名あり」との情報を得ている。

続いて到着した指揮本部長は、南側において指揮宣言を実施、「2階建一般住宅2階30㎡燃焼中」、「延焼危険方向は東北、西側マンションについても延焼の恐れあり」と的確に燃焼程度、延焼危険方向を無線報告し、第2出場を要請した。



若干遅れて建物南側に到着した直近隊は、直近部署宣言を行い、続く中継隊はすでに消火栓部署していた梯子車から中継ホースを延長し、早期に直近中継の放水態勢を確立させることができた。

その数分後に到着したA救助隊は現場到着直後に指揮本部長から「行方不明者2名有り」、先着救急隊からは「1階部分の確認作業は終了した」との情報を次々に得ることができたため2階の検索を主眼とした活動に専念することができ、結果消火隊と連携した早期の救出活動へと繋げる事ができた。

まとめ

直前に発生した隣接署火災のため、各出場隊の寄り付きが悪い状況の中、

「中継隊の到着遅延を考慮した梯子小隊の消火栓部署による早期中継態勢の確立」

「先着隊の積極的な情報収集活動による早期の重要情報の入手」

「各消火隊が方面原則を遵守し、東西南北の情報収集並びに筒先配備を確実に行うことによる要救助者の早期発見と延焼阻止」

「消火隊、救助隊による連携のとれた積極果敢な屋内進入による救出活動と主火力の制圧」等、各隊が自隊の行うべき活動、臨機応変な最善の活動を精一杯実施した結果が、直前に隣接署で火災発生という悪条件を克服して余り有る活動へと繋がったのである。

今回の様な同時火災発生時以外でも、悪天候、交通渋滞等の様々な悪条件下で活動を強いられる場面は多々あると予測されるが、それぞれが優先順位を判断し最善の活動を実施し災害現場の早期終息を実現してもらいたい。そして「市民の信頼・期待に応え得る消防」として市民への安全安心を提供し続けてもらえる事を期待している。

（文責　岩本）

今月のテーマ

自動火災報知設備の設置基準について ～昇任試験対策編～



キセイカナビ vol.38

From 予防部規制課



みなさんこんにちは。今年度より、危険物以外の分野についても勉強していくことになりましたが、今回は、初の建築・設備編「自動火災報知設備の設置基準について」をお届けします。自動火災報知設備は、平成24年の福山市ホテル火災や平成25年の長崎市グループホーム火災を受けて、設置基準が改正されています。一緒に勉強していきましょう。



自動火災報知設備は、過去の昇任試験で出題頻度が高いよ！

問　題

次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を（　）内に記入してください。

Q1　消防法施行令別表第一（5）項イに掲げる防火対象物で、延べ面積 300㎡未満のものには、自動火災報知設備を設置する必要はない。（　　）

Q2　消防法施行令別表第一（4）項に掲げる防火対象物で、延べ面積 300㎡以上のものには、自動火災報知設備を設置しなければならない。（　　）

回答と解説

A1　×　平成 25 年の法令改正により、（5）項イは、面積にかかわらず自動火災報知設備の設置が必要な防火対象物又はその部分に追加されました。（消防法施行令第 21 条第 1 項第 1 号）

面積にかかわらず設置が必要な防火対象物又はその部分
（2）項ニ　（5）項イ　（6）項イ（1）から（3）まで　（6）項ロ
（6）項ハ（利用者を入居させ、又は宿泊させるものに限る）（13）項ロ
（17）項

ポイント

平成 25、26 年の法令改正により二重線部分が追加されました。

A2　○　延べ面積が 300㎡以上で自動火災報知設備が必要となる防火対象物又はその部分は、消防法施行令第 21 条第1項第3号に規定されています。

延べ面積が 300㎡以上で自動火災報知設備が必要となる防火対象物又はその部分
（1）項　（2）項イからハまで　（3）項　（4）項　（6）項イ（4）
（6）項ハ（利用者を入居させ、又は宿泊させるものを除く）（6）項ニ　（16）項イ　（16 の2）項



ポイント

（9）項イだけが、**延べ面積 200㎡以上**で自動火災報知設備が必要です。また、特定防火対象物のうち、（9）項イ以外は、「面積に関係なく設置が必要な防火対象物又はその部分」か「延べ面積が300㎡以上で必要となる防火対象物又はその部分」のどちらかとなっています。

≪法令改正の流れ≫

平成 25 年 12 月 27 日公布

（5）項イ
（6）項イ（利用者を入居させ、又は宿泊させるものに限る）
（6）項ハ（利用者を入居させ、又は宿泊させるものに限る）

上記の用途が面積にかかわらず自動火災報知設備の設置が必要な防火対象物又はその部分に追加されました。

平成 26 年 10 月 16 日公布

（6）項イ（1）【防火対策の必要性の高い病院】
（6）項イ（2）【防火対策の必要性の高い有床診療所】
（6）項イ（3）【(1)及び(2)以外の病院・有床診療所・有床助産所】
（6）項イ（4）【無床診療所・無床助産所】

用途区分が見直され、（6）項イが（6）項イ（1）～（4）に分類されました。

※（6）項イ（4）は、延べ面積 300㎡以上で自動火災報知設備の設置が必要です。



ご意見・ご質問は予防部規制課まで ✉ pa0032@city.osaka.lg.jp



環状線
LOOP LINE



カラーページとなりレイアウトも大幅に変わりました。コンセプトは、見やすく読みやすくです。各署のホットニュースをご覧ください。

Pick Up

大正

各国隊員の意気もピッタリ!!

６月、大阪市では実に46年ぶりとなるアジア消防長会議ＩＦＣＡＡが開催された。消防に関する知識や技術の交流を目的とした国際会議に出席するためアジア各国及び地域の消防長が一堂に大阪に集まった。

メインイベントの一つでもある国際救助隊合同訓練に参加するため９カ国総勢17名からなる海外隊員も来阪し、それぞれの海外隊員には各国一人ずつに、当局職員から通訳アテンドが配置された。学生時代に留学経験があり英語を得意とする当署の寺川主任が担当したのは海外隊員の通訳アテンドの統括である。今回参加した隊員たちはそれぞれが自国でハードなトレーニングを受けているバリバリの救助隊員たちで、当局のＩＲＴ隊員と様々な意見の交換や意思疎通を図るため、アテンド職員が通訳を行いながら訓練に励んだ。海外隊員たちは口を揃えて「日本の消防技術はすばらしい」と言っていた。

寺川主任らアテンド職員による通訳のもと、国際救助隊合同訓練の本番では大勢の市民の前で訓練が披露され、大成功に終わった。

ＩＦＣＡＡも無事に終了し、大阪市を世界にアピールする絶好の機会となった。（大家）







福島

決めろ、無事故のストライク！

毎年６月の第２週に実施される危険物安全週間に伴い、６月８日に管内の危険物取扱事業所である内外インキ製造株式会社で合同訓練を実施した。従業員による自衛消防訓練に続いて、消防隊が放水及び救出訓練を実施したもので、初夏の暑い日中にもかかわらず、熱心に訓練に取り組んでいた。今後も事業所と消防が連携し「危険物　決めろ無事故の　ストライク」を合言葉に、危険物事故の完封を目指す。（開田）



北

合同研修会

梅雨の晴れ間となった６月10日、北区公衆集合場防火協議会、北区防火協力会、大阪市防火管理協会北支部、北自衛消防協議会、北区危険物防火協議会及び北区女性防火クラブの総勢 95 名で「IFCAA 2016 OSAKA」消防防災・国際救助隊合同訓練見学と「津波・高潮ステーション」での研修を行いました。当日は 30℃を超える暑さの中、皆さん最後まで熱心に研修に取組まれていました。（永田）



此花

住友化学(株)大阪工場合同訓練

危険物安全週間における火災予防啓発の一環として、６月６日に住友化学（株）大阪工場で合同訓練を実施しました。

地震により工場内のタンクから廃油が漏えいし、火災が発生したという想定で、自衛消防隊と大阪北港地区共同防災組合陸上隊が消火訓練を実施した後、此花消防署の化学車による一斉放水を実施しました。危険物による災害が無いように事業所と安全を誓いました。（安田）



都島

３機関合同潜水訓練実施

当署潜水救助隊員は５月下旬、海上保安庁関西空港基地桟橋の海域において海上保安庁、大阪府警、大阪府下消防本部との３機関合同潜水訓練に初めて参加しました。

この訓練は、潜水隊員の技術向上を図るとともに、お互いの技術・知識を共有し連携強化を図ることにより、災害現場における対応能力向上を目的としており、他機関から様々な指導・意見を頂き、大変有意義な訓練となりました。（末松）



港

危険物安全週間に伴う合同訓練を実施

6月13日、管内の株式会社かんでんエンジニアリングにおいて、危険物合同訓練を実施した。

地震発生により屋外貯蔵タンクから出火、工作室に逃げ遅れが1名あるという想定で訓練を開始。自衛消防隊員によるタンクへの放水後、消防隊による人命救助及び梯子車での放水を実施するという内容で、事業所の保安に対する意識の高揚、実災害時の迅速な対応へつながる充実した訓練となった。（藤岡）



中央

賑わいの街を守る

先日、広島県尾道市で24棟を延焼する商店街火災が発生した。商店が軒を連ねる商店街の火災は、瞬く間に延焼してしまう危険性が非常に高いことから、迅速な初期消火、119番通報、適切な避難誘導が必要だ。中央区では各商店街との合同訓練を実施している。訓練に励む商店街の人達からは、自らの商店街は自らが守る！そんな強い想いが伝わってきた。観光客で賑わいを見せている、各商店街の安心安全を共に守って行きたい（髙橋）



天王寺

花火の季節に向けて

6月10日から16日にかけての「火薬類危害予防週間」中に、当署に於いて、管内の小学生に対して玩具花火の安全な使用方法を指導しました。

実際に花火を使用して子どもたちに安全な使用方法を体験してもらうと、歓声をあげて花火を楽しみながらも、最後の消火までしっかりと安全に使用してくれました。花火が、夏の楽しい思い出になるように、引き続き指導を続けていきたいと思います。（実山）



西

悲願達成！

平成28年度警防技術練成会において当署が悲願の最優秀に輝きました。ちなみに前回の西消防署の最優秀を調べてみると、遠く時代はさかのぼり昭和49年大会で、当時は「ポンプ操法」といわれていた時代のこと。月並みですが、今回の勝因を最優秀獲得回数3回目の井上中隊長に伺うと「ただ愚直に反復訓練に次ぐ反復訓練を実施したことと、隊員をはじめ支援の職員も私を信じてついてきてくれたことに尽きる」とのことでした。（岡井）



淀川

命のバトン

淀川区内にあるホテル大阪ガーデンパレスにおいて結婚式の新婦を撮影していた男性が急に倒れました。すぐに従業員の中川氏は声をかけ、仰向けにしたところへフロント勤務の原井氏がＡＥＤを持って駆けつけ、ＡＥＤの指示に従い電気ショックを行った後、中川氏が胸骨圧迫を実施し救急隊に引き継ぎました。お二人による尊い命を救った勇気ある行動に対し淀川消防署長より感謝状を贈呈しました。（中辻）



浪速

市民も署員も「ご安全に！」

災害現場に急行する消防車両にとって、事故は最も気を付けなければならない事項の一つである。当署では署員が一丸となって安全確認を徹底して実施し、無事故を継続中。その取り組みが認められ、平成２８年６月２０日、馬場理事より３６５日無事故達成署として表彰された。これからも市民の安全を守るため、車両の安全運行に努めて無事故記録の更新を決意した署員一同であった。（川勝）



東淀川

防災の担い手たち

６月１５日、区内の中学校で３時限にわたって応急手当の授業を持った。慣れない“先生”役に、対応した職員もドギマギしていたが、裸状態の訓練用人形を見ただけでさまざまな反応を見せる生徒たちも思春期真っ只中。

教壇に置いた人形への人工呼吸や心臓マッサージは、恥ずかしさの中にも真剣みがあり、防災の担い手としての資質を感じた１日であった。（北野）



西淀川

危険物安全週間に伴う合同訓練

危険物安全週間に伴い、管内のロックペイント株式会社で合同訓練を実施しました。

同社の自衛消防隊の皆さんを中心に、社員の方が訓練に参加されました。

火災が発生して、逃げ遅れた社員が２階のベランダに取り残されて救助を待っているという想定で、要救助者を救出後、消火活動を実施し、消防隊との連携もスムーズに進み、本番さながらの熱のこもった訓練となりました。（岡藤）



旭

救命率の向上だ！！

小学校において、教職員と生徒の保護者に対し普通救命講習を実施しました。万が一の時にＡＥＤの活用や救命措置の重要性を認識したうえで、講習を実施。最初は戸惑いと緊張で積極的に行動できなかったが、人形に名前を付けたり、想定を参加者とともに考えたりすることで、しだいに笑いも生まれ、効果的な救命処置を行えるようになりました。救命率の向上に繋がる事を期待します。（徳澤）



東成

地域防災リーダー技術訓練

今年も昨年と同様、５月下旬から７月上旬にかけて、区内各連合町会の地域防災リーダー技術訓練を実施した。

地域防災リーダーの防災技術の習得を目的に毎年実施しているもので、隊員は、可搬式ポンプの操作訓練、応急手当などの訓練、地震に関する教養など取り組んだ。今後も、訓練などをさらに重ね、災害に対する地域の備えを万全にし、その技術の伝承を確実にしなければと決意をあらたにしていた。（田中）



城東

広栄化学工業株式会社へ感謝状を贈呈

当署は現在、庁舎の建替二期工事中で訓練場所の確保に苦慮しています。そんな中で平成２８年４月から６月にかけて、広栄化学工業株式会社の御協力をいただき危険物火災、高層建築物火災を想定した訓練を実施しました。危険物施設並びに社屋ビルを活用した訓練は各隊が任務等を再確認し活動するいい機会となった。多大な御支援、御協力に感謝の意を表し平成２８年６月２１日、城東消防署長から感謝状が授与されました。（亀井）



生野

危険物火災に備えて

６月８日、危険物安全週間に伴い、商都交通株式会社の皆さんと合同訓練を実施した。

１１９番通報及び初期消火、避難訓練を行い、その際危険物の種類及び量、逃げ遅れの有無などの情報を消防隊と共有することで、安全な消防活動にも繋がった。自分たちで事業所を守り、自分で自分の命を守るといった自衛消防力も高まった訓練だった。これからも事業所と協力し、危険物火災による被害の軽減を図っていきたい。（魚岡）



住之江

危険物安全週間に伴う合同訓練

６月２２日、（独）製品評価技術基盤機構大阪事業所（以下 NITE）において、危険物安全週間に伴う自衛消防訓練及び消防隊による危険物火災対応訓練が行われました。生憎の雨の中でしたが、NITE 職員、消防隊共に活力溢れる訓練が展開されました。AED 使用訓練では、ダミー人形に替わりＮ消防士長が真に迫った演技で傷病者役を披露。電気ショックを実施した際の臨場感溢れる心拍再開の様子は、NITE 職員の方々から大好評でした。（大藤）



鶴見

震災の教訓を伝える

地域の防災訓練において、震災時に起こる通電火災とそれを防止する感震ブレーカーがあることをデモ機を使って説明した。
「阪神淡路大震災」や「東日本大震災」では、火災原因の半数以上がこの通電火災だったことと、通電火災の発生要因をお話したところ高い興味を示されて質問も相次いだ。今後、この感震ブレーカーの重要性についてさらに普及啓発に努めたい。（犬塚）



住吉

視覚支援学校避難訓練で学んだもの

大阪南視覚支援学校において避難訓練を実施した。

避難訓練が始まると、音で避難場所を認識できるように、担当者がその位置でハンドベルを鳴らし、避難する学生には介添え役が付き添って無事に全員避難することができた。

参加した学生から、「もっとわかりやすく、避難する場所や方向を教えてほしかった」という声があり、災害現場での声かけの重要性を再認識した訓練となった。（広永）



阿倍野

地域防災リーダー新任研修始まる

５月２２日、２８日の２日間、当署において、区内の各町会から推薦された新任の地域防災リーダーに対する研修が実施された。女性６名を含む７４名が、蒸し暑い中にもかかわらず職員の指導のもと可搬式ポンプの操作訓練、ジャッキを使用した倒壊家屋からの負傷者救出救護訓練などを終始熱心に取組んでおられた。今回の研修を通じて「自分たちのまちは自分たちで守る」という防災意識をさらに強くもたれたに違いない。（松窪）



西成

西成区地域防災リーダー研修会

5月28日、西成区民センターに250名の区民が集まりました。2年毎に行われている「地域防災リーダー」委嘱式で再任を含む435名の内、95名の隊員が、横関西成区長から委嘱状を交付され、その後研修会として防災講話を受講して頂いた。

活動する機会があれば心強くあるものの、出来ることならば杞憂に終わって欲しい。そんな複雑な心境での委嘱式でした。（秋野）



東住吉

地域防災リーダーアドバンストコース開催

6月18日と19日の2日間で、救助コースに16名、消火コースに22名の参加を得て地域防災リーダーの技術研修を開催しました。炎天下で行われた救助コース、降りしきる雨の中で行われた消火コース。どんな状況下においてもリーダー同士が話し合い懸命に研修に取組んでおられた。

将来発生すると危惧されている大規模災害に、積極的がリーダーシップを発揮してもらいたい。（岡）



水上

水上消火魂

去る6月14日、高度専門教育訓練センターにて警防技術練成会が行われた。最優秀隊を目指して長期間にわたり訓練に取り組んできた各隊員の動きは素晴らしく、当署から初めて女性隊員が出場した直近消火隊は、昨年に引き続き2年連続で最速直近消火隊に輝いた。この練成会で得た技術や体力を今後の実災害でも遺憾なく発揮し、市民が安心してくらせる「災害のない安全なまち」「災害に強いまち」を目指したい。（西脇）



平野

署内中隊訓練実施

5月28日、実災害を想定した中隊訓練を行った。木造3階建住宅から出火、隣接する共同住宅への延焼危険と要救助者のいる実践さながらの訓練想定で、先着隊、中継隊、第一指揮班のどの任務に当たるか分からないブラインド式訓練とした。訓練終了後、課題が残されたものの、若年層職員にとっては火災が減少してきている中で、第一指揮班での図面の書き方や立体的な訓練が実施できたことで実災害に活かせる訓練ができた。（西浦）





大阪の消防 NEWS



茨木市消防本部

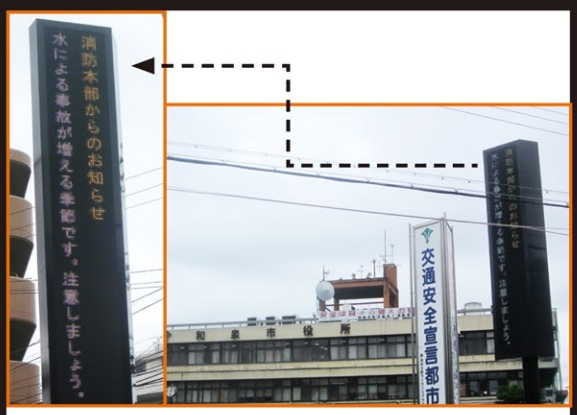
消防署消防団合同水防訓練を実施

茨木市消防本部では、6月5日から消防署と消防団の合同水防訓練を、12分団ごとに実施しました。梅雨や台風による水害に備えて、消防職員、団員の水防活動時の安全管理と水防工法などの知識と技術の向上を図ることを目的として実施しています。

本市には、一級河川の安威川があり、平成26年8月の台風11号の接近時には、氾濫危険水位に達するほどの豪雨で避難勧告が発令され、内水被害等が多数発生し、消防団との連携の必要性を改めて再認識しました。訓練は、土のうの作成や改良積土のう工法などを行うとともに、水防活動時の安全管理についての教養も実施しました。

合同訓練を実施することにより、消防団と顔の見える関係を構築していき、現場活動では意思疎通を図りながら、円滑な活動に努めていきたいと考えています。

今後もこのような訓練を継続的に実施することにより、消防団との連携を深め、市民にとって安全・安心なまちを目指していきます。



和泉市消防本部

水難事故ゼロを目指して

和泉市は泉北地域の中で唯一海に面していない内陸の市になりますが、多くのため池や河川が存在しています。当消防本部では、河川やため池の水難事故に対し7月・8月を水難訓練強化月間とし水難事故多発期を迎える7月には、市内のプールを利用しての消防職員の知識及び技術の向上を目的とした泳力測定や救助泳法訓練（運搬法含む）を実施しています。

また8月にはボートを使用して船外機取り扱い訓練や溺者救出訓練等もため池で実施しています。

水難事故防止対策の一環として今年度より「水による事故が増える季節です。注意しましょう。」を標語として、市の広報紙を活用した市民への呼掛けを行うと共に6月から8月までの期間、市役所や消防の庁舎に設置してある電光掲示板を活用して市民への注意喚起等を積極的に行うことにより水難事故を未然に防止すると共に和泉市でのため池や河川での水難事故ゼロを目指し職員一同取り組んでいます。



吹田市消防本部

最新の高機能消防指令センター運用開始！！

吹田市消防本部では、摂津市消防本部とともに指令センター（名称：吹田市・摂津市消防指令センター）と消防救急デジタル無線を一括で整備し、指令業務の共同運用と併せて平成２８年４月１日から運用を開始しました。

新指令センターでは、マウスやキーボードを使うことなくスマートフォンのように画面で操作可能な最新型の指令台や、外国人からの通報にも対応できるよう３者通話を使用した５ヶ国語同時通訳サービス等、最新の機器や技術を導入しています。

また、車載型や携帯型の現場映像伝送装置や高層マンション等の屋上に６基の高所カメラを設置、災害現場の情報を指令センターや警防本部・署所と共有することで、素早い情報収集や統制が可能となりました。

最後に当消防本部では共同運用のメリットを最大限に生かし、地域住民の安心・安全なくらしを守るため更なるレベルアップを図ってまいります。



守口市門真市消防組合消防本部

幼年消防クラブと消防音楽隊がこどもまつりで防火意識の啓発

平成２８年５月１５日（日）に淀川河川公園（やくも公園地区）で「第４８回守口市こどもまつり」が開催されました。

消防音楽隊と守口市門真市消防組合イメージキャラクター「レンダイオン」を乗せたミニ消防車を先頭に、幼年消防クラブ金田幼稚園の園児が『火の用心』と書いたハッピに袖を通し、ポンポンを振りながら会場へ遊びに来られた方に対し、可愛く、元気いっぱいの笑顔で「火災を起こさないように」と伝えながら、消防音楽隊の演奏にのせてパレードを行いました。

パレード終了後には、会場に設置された舞台で消防音楽隊による防火コンサートを実施し、迫力ある演奏は、観衆を魅了し、盛大な拍手と歓声に包まれました。

パレードでの園児たちの可愛さと元気よさ消防音楽隊の迫力ある演奏を通じて、会場に来られた方の「防火意識の向上」につなげることができました。

今後も市民向けに積極的な広報活動を実施し、防火意識の啓発を行っていきます。

職務 1

応急手当の普及啓発について

救急課

はじめに

大阪市消防局では平成6年度から傷病者の救命効果の向上を図るため、普通救命講習等各種講習会を開催し、応急手当に関する知識と技術の普及啓発を実施している。

開始から21年を経過した現在、延べ受講者数は97万人を超えるまでに至っている。（表1　参照）

応急手当の普及啓発活動の変遷

応急手当の普及啓発活動の変遷については平成5年まで遡る。

市民がバイスタンダーとなり、心肺蘇生法等の応急手当を適切に行うことが、救命率の向上につながることから、平成5年の消防庁告示（平成5年消防救第41号）に基づき、当局では同年12月に「応急手当の普及啓発活動に関する実施要綱」を制定し、普及啓発活動を開始した。

また、平成16年には、更なる救命率の向上を目指して、非医療従事者（一般市民）が自動体外式除細動器（AED）を使用することが可能となり、応急手当の各種講習プログラムに含まれることとなった背景を踏まえて、本要綱の全部を改正した。

その後、平成23年8月31日付けで総務省消防庁次長より「応急手当の普及啓発活動の推進に関する要綱の一部改正について」が通知された。当該要綱の主な整備内容は次の通り。

・応急手当の着手率アップが救命率向上に有用であることから、受講しやすい体制を整備

・受講者のすそ野を広げ（小学校高学年以上）、幅広い年齢層が繰り返し応急手当を学べるようにするため、胸骨圧迫やAEDに要点を絞った「救命入門コース（90分）」の新設

・乳児・小児を対象とした講習に対応することを目的とした「普通救命講習Ⅲ」の新設

・e-ラーニングを用いた講習、分割型講習など、短時間で受講を可能にする効率的な講習制度の導入

表1　応急手当普及啓発実施状況（H6～H27）

講習種類	延べ受講者数
救命入門コース	13,975
普通救命講習	719,309
上級救命講習	23,654
応急手当普及員講習	12,416
応急手当普及員再講習	13,517
応急手当指導員講習	5,042
応急手当普及員が実施した講習	185,536
計	973,449

現在の取り組みについて

前記の変更内容を受け、当局においても救命入門コース及び普通救命講習Ⅲを新設、各小中学校や地域の方に積極的に働きかけ、受講者のすそ野を広げ、受講しやすい体制を整備していることについて啓発する活動を展開している。

また、市民向けに応急手当を学べる教材としてwebサイト「ボジョレーに教わる救命ノート」（www.119aed.jp）を立ち上げた。当サイトはe-ラーニングを用いた講習にも対応しており、平成28年3月に900万アクセスを達成した。e-ラーニングを用いた講習を受講してからの救命講習等受講者も増加傾向にあり、順調に市民の間で浸透しつつある。

課題解決に向けた新たな取り組みについて

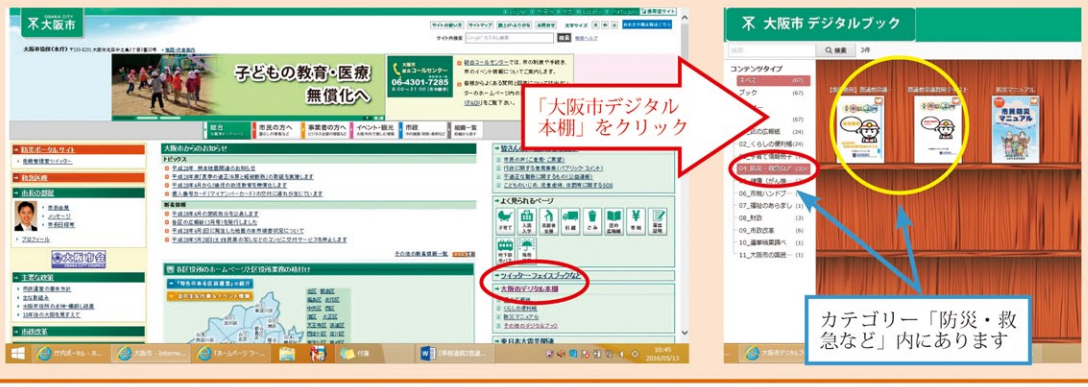
応急手当の普及啓発において、市民が応急手当の方法を指導できる応急手当普及員による普通救命講

習等が大きな役割を担っている。当局では、応急手当普及員が当該講習を開催する場合、訓練人形やAEDトレーナーを無料で貸出しているが、講習テキストについては応急手当普及員自身が準備しなければならず、応急手当普及員の負担となっていた。このことを受け、平成28年度から「大阪市デジタルブック」及び当局ホームページに応急手当普及員が講習を開催する時に活用できるように「普通救命講習用テキスト」及び、このテキストに合わせた「(指導者用)普通救命講習実施の手引き」を掲載し、応急手当普及員による更なる普及啓発活動の推進に努めている。

アクセス方法

・大阪市デジタルブック
　インターネットから「大阪市デジタルブック」で検索。
　大阪市デジタルブックのコンテンツ内にあるカテゴリー「04防災・救急など」を選択。
・当局ホームページ
　当局ホームページのコンテンツ内「救急」→「救急のお知らせ」→「応急手当普及員による普通救命講習用テキスト」を選択。（文責　小川）

大阪市ホームページ内掲載場所（大阪市デジタルブック）



大阪市消防局ホームページ掲載場所



職務２

平成28年熊本地震 緊急消防援助隊「大阪府大隊」活動概要

警防課

▼はじめに

平成28年４月14日の前震では、指揮支援隊及び航空小隊（指揮支援隊輸送任務）の出動基準に該当する地震であったが、消防庁からの待機命令により、方面隊で編成された指揮支援隊及び航空隊は出動準備を整え八尾航空隊基地で翌朝まで待機したが、出動に至らなかった。

平成28年４月16日の本震では、発災から約５時間後に消防庁長官からの出動の求めがあり、指揮支援隊及び大阪府大隊が緊急消防援助隊として熊本に出動することとなった。

▼地震の概要

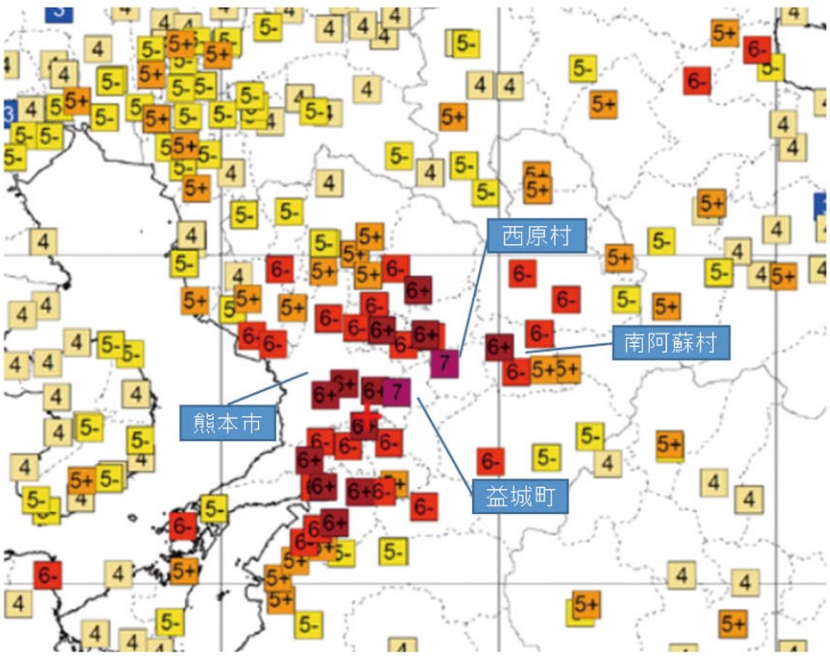
前震

平成28年４月14日（木）21時26分に、熊本県熊本地方の深さ11kmでＭ６・５の地震が発生し、益城町で震度７を観測した。

本震

平成28年４月16日（土）１時25分に、熊本県熊本地方の深さ12kmでＭ７・３の地震が発生し、益城町、西原村で震度７の揺れを、南阿蘇村、菊池市、宇土市、大津町、嘉島町、宇城市、合志市、熊本市で震度６強を観測した。（別図１）

震度分布図（熊本市周辺）　別図1



【地震調査研究推進本部（文部科学省）】

余震

4月14日以降、熊本県熊本地方、阿蘇地方、大分県中部等にかけての広い範囲で、4月15日0時3分のM6・4（最大震度6強）、4月16日3時55分のM5・8（最大震度6強）などを含め、4月30日までに最大震度5弱以上を観測した地震が18回発生した。

▼緊急消防援助隊派遣状況

（平成28年4月16日～平成28年4月23日）

大阪市消防局　29台　1機　195名

他府内消防本部　61台　365名

合計　90台　1機　560名（別表1）

平成28年熊本地震　大阪府大隊派遣台数・人員一覧表　別表1

大阪府大隊総数

	指揮支援		指揮		消火		救助		救急		後方支援		通信支援		航空		特殊装備		合計
	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	
4/16派遣	1	7	3	11	2	8	17	80	33	100	16	46	2	6	1	4	4	16	79台 278名
4/19派遣	0	7	0	11	0	8	0	81	0	100	12	54	0	5	0	0	0	16	12台 282名
小計	**1**	**14**	**3**	**22**	**2**	**16**	**17**	**161**	**33**	**200**	**28**	**100**	**2**	**11**	**1**	**4**	**4**	**32**	91台 560名

大阪市

	指揮支援		指揮		消火		救助		救急		後方支援		通信支援		航空		特殊装備		合計
	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	
指揮支援	1	7													1	4			2台 11名
統合機動			1	4			3	12	3	9	2	6	1	3			1	2	11台 36名
1次派遣							1	4											1台 4名
2次派遣					2	8	3	12	2	6							1	3	8台 29名
後方支援											4	16							4台 16名
3次派遣		7		4		8		29		15	4	28		3				5	4台 99名
小計	**1**	**14**	**1**	**8**	**2**	**16**	**7**	**57**	**5**	**30**	**10**	**50**	**1**	**6**	**1**	**4**	**2**	**10**	30台 195名

大阪府下（大阪市除く）

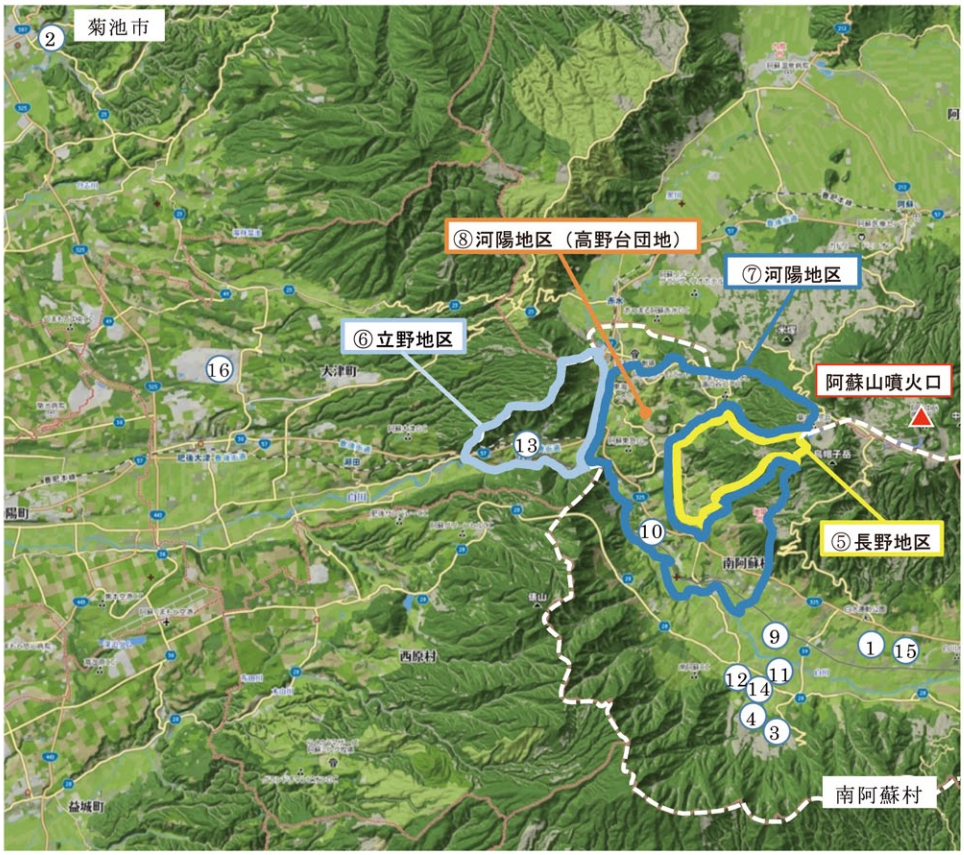
	指揮支援		指揮		消火		救助		救急		後方支援		通信支援		航空		特殊装備		合計
	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	台数	人員	
指揮支援																			0台 0名
統合機動																			0台 0名
1次派遣			1	4			9	47	15	46	1		1	3					27台 100名
2次派遣			1	3			1	5	13	39	1						2	11	18台 58名
後方支援											8	24							8台 24名
3次派遣				7				52		85	8	26		2				11	8台 183名
小計	**0**	**0**	**2**	**14**	**0**	**0**	**10**	**104**	**28**	**170**	**18**	**50**	**1**	**5**	**0**	**0**	**2**	**22**	61台 365名





緊急消防援助隊　大阪府大隊　活動状況図　　別図2

▼大阪府大隊の主な活動地域と宿営場所（別図2）



①	阿蘇広域行政事務組合消防本部南部分署	指揮支援本部（指揮支援隊宿営場所）
		指揮本部（大阪府大隊指揮隊宿営場所）
		消火隊移動配備（4/18～22）
		救急隊移動配備（4/19～22）
②	菊池市総合体育館	大阪府大隊宿営場所（4/16～19）
③	ホテルグリーンピア南阿蘇	大阪府大隊宿営場所（4/20～22）
④	野外劇場アスペクタ	大阪府大隊前進活動拠点
⑤	長野地区	捜索活動場所（4/17）
⑥	立野地区	捜索活動場所（4/18）
⑦	河陽地区	捜索活動場所（4/18～19）
⑧	河陽地区（高野台団地）	捜索活動場所（4/20～22）
⑨	白水高原駅	救急隊移動配備（4/18～20）
⑩	南阿蘇村役場　長陽庁舎	救急隊移動配備（4/18～22）
⑪	あそ望の郷くぎの	救急隊移動配備（4/18～22）
⑫	南阿蘇村役場　保健センター	救急隊移動配備（4/19）
⑬	立野小学校	救急隊移動配備（4/19～21）
⑭	社会福祉協議会南阿蘇	救急隊移動配備（4/20～22）
⑮	南阿蘇村役場　白水庁舎	救急隊移動配備（4/20～22）
⑯	本田技研工業㈱　熊本工場	救急隊移動配備（4/21～22）

▼大阪府大隊の主な活動概要（別表2）（別表3）

大阪府大隊の主な活動概要			別表2
4月	16日	（土）	出動要請、被災地へ移動
			5:55　指揮支援隊（陸路）　消防局出発
			6:30　指揮支援隊（空路）・航空隊　八尾空港出発
			8:20　統合機動部隊　消防局出発
			10:30　1次派遣　淡河PA出発
			10:40　指揮支援隊（空路）・航空隊　熊本空港到着
			12:25　後方支援中隊　高度専門教育訓練センター出発
			12:35　2次派遣　淡河PA出発
			翌4:04　全隊宿営場所（菊池市総合体育館）到着
	17日	（日）	南阿蘇村長野地区、河陽地区の捜索活動を開始
	18日	（月）	南阿蘇村立野地区、河陽地区の捜索活動
			救急小隊避難場所等において移動配備開始
	19日	（火）	南阿蘇村河陽地区の捜索活動
			宿営場所をホテルグリーンピア南阿蘇へ移動
			19:05　3次派遣（交代要員）　フェリーで南港から別府へ出発
	20日	（水）	南阿蘇村河陽地区の捜索活動を24時間体制で実施
			13:20　派遣隊員交替
	21日	（木）	南阿蘇村河陽地区の捜索活動は降雨により中断
	22日	（金）	南阿蘇村河陽地区の捜索活動再開
	23日	（土）	引揚
			5:09　帰阪開始
			23:50　全隊帰署所
事案件数			
・火災事案			2件
・救急事案			60件　61名搬送

航空隊の主な活動概要			別表3
4月	16日	（土）	・八尾空港から熊本空港へ指揮支援隊を搬送
			・熊本市中心部及び益城町の情報収集
			・熊本空港から阿蘇広域行政事務組合消防本部北部分署へ指揮支援隊搬送
			・孤立集落からの救助任務が入るも途中引揚
	17日	（日）	・山都町付近の情報収集任務にあっては、天候不良により待機。天候回復後もフライトなし。 ・南阿蘇村の救助要請により出場。同時に出場した先着隊（京都消防ヘリ）により救助の要なしと確認されたため、途中引揚 ・熊本県防災航空隊長から南阿蘇村の情報収集後、八尾基地で待機の指示があり八尾基地へ帰投
	18日	（月）	
	～		八尾基地で待機
	22日	（金）	

▼終わりに

今回の緊急消防援助隊大阪府大隊の派遣は、8日間にわたり大阪府内消防本部から560名の隊員が派遣となった。また、後方支援本部や各消防本部においても多数の職員が派遣を支え、大阪府内消防本部が一丸となり多くの絆が生まれた。一方、南海トラフ地震等に対する体制の充実強化の必要性を痛感させられる派遣でもあった。

（文責　今村）



職務３

平成27年中の規制対象物における火災発生状況（１）

予防課

はじめに

本資料は、平成27年中に発生した建物火災のうち消防法でいう消防用設備等の設置又は防火管理について規制を受ける対象物（以下「規制対象物」という）の火災状況を分析し、今後の効果的な予防行政を推進するための火災予防対策資料として作成したものである。

火災発生状況

大阪市内の火災概況

平成27年中の火災発生状況は、火災件数８７０件、焼損面積４８０２㎡、損害額４億２７０８万３０００円であった。

平成26年に比べ火災件数については１５１件の減少、焼損面積は７８７３㎡の減少、そして損害額は４億７９８８万円の減少であった。火災の内訳は、建物火災６４５件、車両火災50件、船舶火災２件、爆発火災１件、その他の火災１７２件であった。火災による死者について、放火自殺者を除くと24人で前年に比べ６人減少し、放火自殺者は３人で、前年に比べ３人減少した。また、火災による負傷者は１４９人で、前年に比べ25人減少した。

規制対象物の火災

平成27年中に発生した建物火災（建物における爆発火災１件を含む。以下同じ）６４６件のうち、規制対象物で発生した火災は４６１件で建物火災の71・４％であった。焼損面積は１７０６㎡、損害額は１億８８９０万９０００円であった。これは全ての火災の焼損面積で35・５％、損害額で44・２％であった。平成26年に比べて、火災件数は66件の減少、焼損面積は５７６９㎡の減少、損害額は１億５１６１万２０００円の減少であった。

火災による死者数は、放火自殺者を除くと前年に比べ６人減少の12人で、また放火自殺者は２名で前年に比べ１人増加した。負傷者については97人で、前年に比べ30人減少した。

用途別にみた規制対象物の火災

休止休業中のものを除いた市内の規制対象物９万６１９９件（平成28年３月31日現在）のうち火災が発生した規制対象物数は４６１件で全体の０・５％である。

これらを消防法施行令別表第一に掲げる用途別の発生件数でみると、共同住宅等(5)項口が２１９件と最も多く、次いで不特定多数の人が利用する複合用途防火対象物(16)項イが１０８件、その他の複合用途防火対象物(16)項口が53件、工場・作業場(12)項イが22件となっており、これらの用途だけで規制対象物火災全体の87・２％を占めている。《表参照》

さらに規制対象物における火災を、出火部分用途別（複合用途防火対象物においては出火した部分の用途とする）にみると、共同住宅等(5)項口が２７６件で全体の59・９％、飲食店(3)項口が61件（13・２％）、事務所等(15)項が33件（7・２％）、工場・作業所(12)項イが24件（5・２％）となっている。《図１参照》

また、用途別火災発生件数のうち、複合用途防火対象物(16)

表　令別表1(用途)別火災発生件数

令別表		用途	件数
(1)項	イ	劇場・映画館	1
	ロ	公会堂・集会場	-
(2)項	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	1
	ハ	性風俗関連施設	-
	ニ	カラオケ、個室ビデオ等	-
(3)項	イ	待合・料理店等	1
	ロ	飲食店	15
(4)項		百貨店・マーケット等	8
(5)項	イ	旅館・ホテル等	5
	ロ	共同住宅等	219
(6)項	イ	病院・診療所等	2
	ロ	養護老人ホーム・老人短期入所施設等	-
	ハ	老人ディサービスセンター・児童養護施設等	4
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1
(7)項		小中高校・大学校等	1
(8)項		図書館・博物館等	-
(9)項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場等	-
	ロ	イ以外の公衆浴場	1
(10)項		停車場・発着場	-
(11)項		神社・寺院・教会等	-
(12)項	イ	工場・作業場	22
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	-
(13)項	イ	車庫・駐車場	1
	ロ	飛行機等の格納庫	-
(14)項		倉庫	2
(15)項		事務所等	16
(16)項	イ	特定の複合用途防火対象物	108
	ロ	その他の複合用途防火対象物	53
(16の2)項		地下街	-
(17)項		文化財	-
(18)項		延長５０メートル以上のアーケード	-
合計			461

原因別にみた規制対象物の火災

規制対象物での火災461件を出火原因別でみると、放火(放火の疑いを含む)76件(16・5%)、たばこ75件(16・3%)、ガスこんろ59件(12・8%)、天ぷら油49件(10・6%)、電気配線類43件(9・3%)等であった。《図2参照》

～次号に続く～（文責　林）

項で発生した火災161件の出火部分の用途を件数の多い順にみると、共同住宅等(5)項口部分からの火災が57件、飲食店(3)項口が46件、事務所等(15)項が17件となっている。

図2　原因別火災発生件数(総数461件)

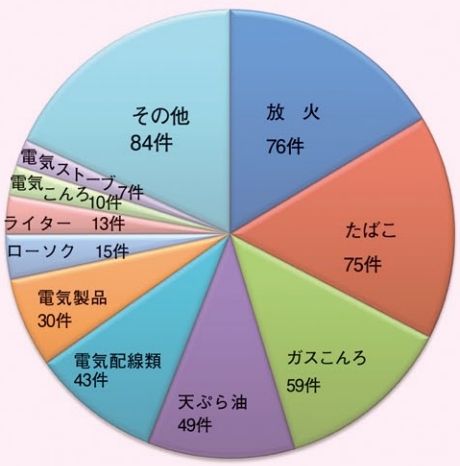
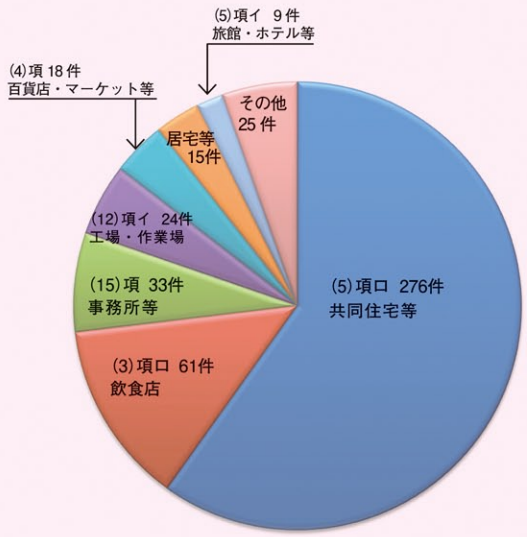


図1　出火用途別火災発生状況(総数461件)



職務 4

平成28年度 大阪府下消防長会事業推進委員会事業

大阪府下消防長会

大阪府下消防長会事業推進委員会は本会の目的を達成するため、総会、役員会における決議事項並びに事業計画に基づく事業の推進をはかり、諸情勢に対処するため設置されています。平成28年度の事業については次のとおりです。

総務財政委員会

① 委員会
消防行政を取り巻く諸問題について専門的分野を研究・審議するため、年1回以上開催する。

② 担当者会議
大阪府下各消防本部の総務財政業務に関する情報交換及び連絡調整を図り、総務財政業務を円滑に推進するため、年1回以上開催する。

③ 総務財政関係執務資料の配付
◆ 総務財政関係冊子を各消防本部へ配付する。
◆ 「大阪消防」誌を各消防本部及び大阪府立消防学校へ配付する。

④ 調査研究
◆ 消防財政上の諸問題の研究
◆ 消防職員委員会に関する調査研究
◆ 消防の組織に関する調査研究
◆ 消防行政広報・広聴に関する調査研究
◆ その他本委員会が所管する当面の課題について調査研究

予防委員会

① 正副委員長会議及び予防委員会の開催
◆ 正副委員長会議　必要に応じ随時開催
◆ 予防委員会　年2回開催

② 予防事務担当者会議
◆ 5月（危険物）
中ブロック
（富田林市消防本部）
◆ 7月（一般予防）
南ブロック
（貝塚市消防本部）
◆ 10月（危険物）
北ブロック
（箕面市消防本部）
◆ 11月（一般予防）
東ブロック
（交野市消防本部）

③ 違反是正事例研究会
大阪府下消防長会予防事務担当者会議（危険物）開催日にあわせて開催する。

④ 大阪府危険物安全月間事業について積極的に協賛し、事業の推進を図る。

⑤ 石油機器技術管理講習・認定試験及び石油機器技術管理再講習について、関係事業所に案内書を送付し受講を勧奨する。

⑥ 消防ヘリコプター活用による府下統一消防広報の実施
◆ 住宅用火災警報器啓発
平成28年
5月25日～5月31日
◆ 危険物安全月間
6月1日～6月30日
◆ 救急医療週間
9月7日～9月13日
◆ 秋季全国火災予防運動
11月9日～11月15日
◆ 歳末防火
12月20日～12月31日
◆ 防災とボランティア週間
平成29年
1月15日～1月21日
◆ 文化財防火デー
1月26日
◆ 春季全国火災予防運動
3月1日～3月7日

⑦ 予防広報資材（府下統一ポスター）作製
火災予防の普及啓発のため、広報資材を作製し、府下の各消防本部へ配付。

警防救急委員会

⑧ 大阪府下違反是正推進部会（年1回開催）
⑨ 大阪府下住宅用火災警報器設置対策部会（年1回開催）
⑩ 大阪府下消防音楽隊推進部会
◆ 大阪府下消防音楽隊推進部会定例会
◆「IFCAA 2016 OSAKA」「第31回大阪の消防大賞」合同練習
◆「IFCAA 2016 OSAKA」（6月9日・10日　於：ハイアット・リージェンシー大阪）
◆「第31回大阪の消防大賞」（7月2日　於：大阪国際交流センター）
◆ 大阪府消防大会（9月4日　於：大阪府立消防学校）
◆ 大阪府立消防学校初任教育実科査閲（9月・3月　於：大阪府立消防学校）
⑪ 職員教養図書「大阪消防」誌を各消防本部へ配付

① 委員会の開催
・平成28年7月　高槻市消防本部
・平成29年2月　高槻市消防本部
② 火災調査担当者会議の開催
・平成28年5月　河内長野市消防本部
・平成28年11月　忠岡町消防本部
③ 救急担当者会議の開催
・平成28年5月　高槻市消防本部
・平成28年10月　交野市消防本部
④ 大阪府下消防活動事例発表会の開催
⑤ 大阪府下警防技術指導会の開催
・平成28年11月　大阪市消防局高度専門教育訓練センター
⑥ RESCUEネットワーク OSAKA
・救助技術の交流及び新たな救助技術の研究
・救助隊の合同訓練（グループ別合同訓練）
・大阪府下救助シンポジウム
⑦ 職員教養図書「大阪消防」誌を各消防本部に配付

表1　大阪府下消防長会役員一覧

大阪府下消防長会役員		
会長	大阪市	
副会長	堺市	
幹事	北	箕面市 摂津市
	東	枚方市 寝屋川市 守口市 門真市
	南	岸和田市 和泉市
	中	柏原市 羽曳野市 藤井寺市 大阪狭山市

表2　大阪府下消防長会ブロック代表消防本部

大阪府下消防長会ブロック代表消防本部	
北	摂津市
東	守口市 門真市
南	岸和田市
中	柏原市 羽曳野市 藤井寺市

表3　大阪府下消防長会事業推進委員長

大阪府下消防長会事業推進委員長	
総務財政	吹田市
予防	枚方市 寝屋川市
警防救急	高槻市

表4　大阪府下事業推進委員会委員一覧

委員会	ブロック			
	北	東	南	中
総務財政	吹田市 摂津市	東大阪市 八尾市	岸和田市 忠岡町	松原市 河内長野市
予防	豊中市 茨木市 箕面市	枚方市 寝屋川市 大東市 四條畷市	和泉市 泉大津市	富田林市 大阪狭山市
警防救急	高槻市 池田市 島本町	守口市 門真市 交野市	泉州南 貝塚市	柏原羽曳野藤井寺

大阪市防火管理協会からのお知らせ

(一社)大阪市防火管理協会 販売図書のご案内



防火・防災管理のススメ
～消防手続編～〔8訂版〕

【内容】

・　防火管理者、防災管理者必携の各種申請・届出の実務書
・　防火管理、防災管理に関する特例認定申請や各種届出を、「いつ」、「どこに」、「どのように記入」して提出するのか、を具体的な記入例で掲載。
　また、建物の使用や用途変更、催し物の開催、露店等の開設などを行う場合の届出についても記入例を掲載しています。

A４判　編集・発行／一般社団法人大阪市防火管理協会
監修／大阪市消防局

【お問い合わせ・お申込み先】

（一社）大阪市防火管理協会
〒544-0021 大阪市生野区勝山南４丁目７－１１
TEL：06-6741-2130　FAX：06-6712-2130

防火・防災管理講習日程表

●甲種防火管理新規講習
（講習会場：大阪市立阿倍野防災センター
講習時間：両日とも10：00～16：00）

回数	開催日
第19回	平成28年9月7日（水）、8日（木）
第20回	平成28年9月10日（土）、11日（日）
第21回	平成28年9月20日（火）、21日（水）
第22回	平成28年9月26日（月）、27日（火）

●甲種防火管理再講習
（講習会場：大阪市消防局生野分室、大阪市立阿倍野防災センター
講習時間：午前は10：00～12：00　午後は14：00～16：00）

回数	開催日	場所
第7回	平成28年9月2日（金）午後	大阪市消防局生野分室
第8回	平成28年9月22日（木）午前	大阪市立阿倍野防災センター

●防災管理新規講習
（講習会場：大阪市消防局生野分室
講習時間：10：00～15：30）

回数	開催日
第9回	平成28年9月1日（木）
第10回	平成28年9月16日（金）

●防火・防災管理新規講習
（講習会場：大阪市立阿倍野防災センター
講習時間：両日とも10：00～17：00）

回数	開催日
第13回	平成28年9月5日（月）、6日（火）
第14回	平成28年9月12日（月）、13日（火）
第15回	平成28年9月29日（木）、30日（金）

●防火・防災管理再講習
（講習会場：大阪市消防局
講習時間：14：00～17：00）

回数	開催日
第5回	平成28年9月28日（水）

（北区）　日本ペイント㈱大阪事業所自衛消防隊

日本ペイント㈱大阪事業所は、様々な塗料などの危険物を製造する日本ペイント製造㈱大阪工場として１８９５年（明治28年）に操業を開始されました。

２００９年（平成21年）には、工場としての操業を終了し、翌年に大阪物流センターを建設、事業所としての操業を開始されました。現在も危険物倉庫、調色工場を多く保有されています。

自主防災体制の構築については事業所全体で取り組んでおられ、約１００名で編成された災害対策隊による自衛消防訓練を毎月１回実施されています。

また、南海トラフ地震等の大災害に備え、非常食や簡易トイレ等の災害必需品を備蓄されています。



北自衛消防協議会へは発足当初から参画され、現在は当協議会の副会長を務められています。

協議会技術発表会では、常に上位入賞され、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮されておられます。

自衛消防隊紹介

自衛消防隊長
野尻　弘之

日本ペイント㈱大阪事業所では年に１回、大阪市北消防署に御協力いただきグループ合同訓練を実施しています。

空気呼吸器の使い方、ケガ人の搬送方法等テーマを決め、防災意識の向上に努めています。



女性防火クラブだより

福島区

福島区は、北に新淀川、南は堂島川・安治川に面し、大阪市の西北部に位置しています。区内には９つの駅を有し、市内中心部への、また、神戸方面への交通の要衝となっています。

福島区女性防火クラブは、福島区地域女性団体協議会を母体として、各連合町会別の１０支部をもって組織し活動しています。

地域での主な活動としては、「ふれあい喫茶」や「高齢者食事サービス」などの福祉活動を積極的に推進しており、このような集いの機会をとらえて福島消防署と協働して、災害弱者である高齢者を対象に、予防救急や防火・防災の普及啓発を行っています。

また、大きな災害が起こった場合に、地域での頼もしい戦力となる若者の育成のために、毎年、区内３校の中学生を対象に、地域防災リーダーと共に、応急手当等の防災研修の指導にも努めています。

今後とも、笑顔で暮らせる安心・安全な街づくりのために、「自分たちの地域は自分たちで守る」という信念と連帯意識の下、火災や災害に強い安心･安全なまちづくりのため､積極的に活動していきたいと思います。



大阪市消防局 災害活動支援隊

総務課
警防課



中村　裕二
参集署　住之江
平成26年3月退職

1 消防を志した切掛け

私が、就職をめざした昭和51年は、第一次オイルショック後の就職難の時期で、不安定な時代でもありましたので、どこか安定した就職先を探していた時に、大阪市消防局の募集を見付け、高校の友人を誘って受験しました。倍率はかなり高かったと記憶しています。

最初の配属先の西成消防署は、小学生の時に見学した記憶が特に鮮明に残っている場所だったので何か消防との強い因縁みたいなものを感じてしまいました。

2 忘れられない仕事

三島の消防学校最初の期生として、まっさらの校舎で半年間過ごして、西成消防署に配属されました。昭和50年3月に発生した千成ホテルの火災は消防に入る前だったのですが、配属から1年後の昭和52年11月に同じ萩之茶屋にあり、死者2名が発生したホテル新大阪の火災では、はじめて、はしご車での救助や濃煙の中で屋内検索を経験しましたが、緊張で呼吸が荒くなり、あっという間に呼吸器のアラームが鳴りだした時の怖さや心細さが忘れられません。

予防課時代には、平成10年の予防電算システムの更新を担当しました。それまでのシステムから現在のパソコンシステムへの切り替えという課題もあり大変でしたが、何とか無事に更新することができました。連日夜の遅くまで黙々と作業を続けた電算担当の面々の頑張りには、今も頭が下がる想いです。

また、毎年出火原因のトップが放火という事もあり、放火防止対策を進めることになり、課員全員がアイデアを出し合い、予防課としてはかなりの額の予算がついたときには、皆で喜んだのを覚えています。いまでも、消防車両に貼られている「ストップ放火」のステッカーを見ると当時のことが思い出されます。

3 課長からのアドバイス

予防課時代の上司である課長が常々言われていた「仕事は遊び。誰でも遊びは好きや、苦にならん。仕事も一緒」という言葉。

「仕事も自分から好きになると、向うも好きになってくれる。苦にもならんし、仕事も進む。仕事を好きになることが大事」と解釈し、実践を心がけてきました。

4 定年まで頑張れたのは

その時々に必ず見守ってくれていた上司、協力してくれた同僚や支えてくれた係員の皆さんに恵まれたこと。38年間の消防生活、本当に多くの人に助けていただきました。

また、単身赴任の時も含めて、家族のサポートがあったから健康で定年を迎えられたと思っています。

5 後輩に伝えたいこと

何事にかかわらず、不器用でいいから生真面目にやっていれば、誰かが見ていてくれていますし、誰かが関わってきてくれます。気がついたら周りが仕事を進めてくれているということもあります。

最後に、後輩の皆さんの益々のご活躍をお祈りしております。

みなさんのプライベートを拝見！

マイ・ライフスタイル

MY LIFE STYLE



name: 北 玉木　力也

ライフセーバーに魅せられて

高校２年生の夏、須磨海水浴場へ遊びに行った時のこと。私は突堤からの飛び込みをしていると、一人のライフセーバーがやってきました。

怒られると思っていたら、そのライフセーバーは笑顔で「君らは泳ぎが上手やなぁ！水泳部？」と話しかけてきました。そうですと答えると、「やっぱり！飛び込みは楽しいよな。けど今までにケガされた方もたくさんいて、危ないからやめといてくれる？」と、本来なら注意されるところを、諭すように話しかけられました。私はそのことが非常に好印象で、後に私の原点となりました。

それから約１年後、私は得意の水泳を活かして何か新しいことを始めたいと考えていたことと、あのライフセーバーが強く印象に残っていたため、私もライフセービング活動を始めることにしました。

そもそもライフセービングとは、水辺の事故を未然に防ぐためのボランティア活動です。この活動に関わる人をライフセーバーと呼びます。

消防と違ってライフセーバーは事故を未然に防ぐため、たくさんのお客さんに声をかけていきます。しかし関西では、近年になってやっと知れ渡りましたが、私が活動をはじめた１４年前では馴染みがなかったことや、私の知識や経験が乏しいために理解を得られず、時には暴言を吐かれたこともありました。

大学生の時には、本場であるオーストラリアへ行き、パトロールやトレーニングを積みました。オーストラリアでは、ライフセーバーは国民から信頼を得ていることや、国民一人ひとりが「海は危険」と認知していることで、ライフセーバーが活動する海では、事故は非常に少ないです。いずれ日本もこうなればと強く感じました。

ライフセービングにはパトロール活動以外に、救助力向上のために競技会があり、砂浜で２０m先のバトンを取り合うビーチフラッグスや、サーフスキーレース（写真）等があり、私はフィンとレスキューチューブを用いて１２０m先の溺者を救助するレスキューチューブレスキューという種目において全国大会で６位になった経験があります。こうした生命にかかわる活動経験から、就職するなら消防という選択に自然となりました。

今年もすでにシーズンがはじまっています。学生の頃のようにたくさん参加することはできませんが、事故を１つでも防げるように声をかけていきます。

今はチームメイトとなった、あのライフセーバーと共に…。



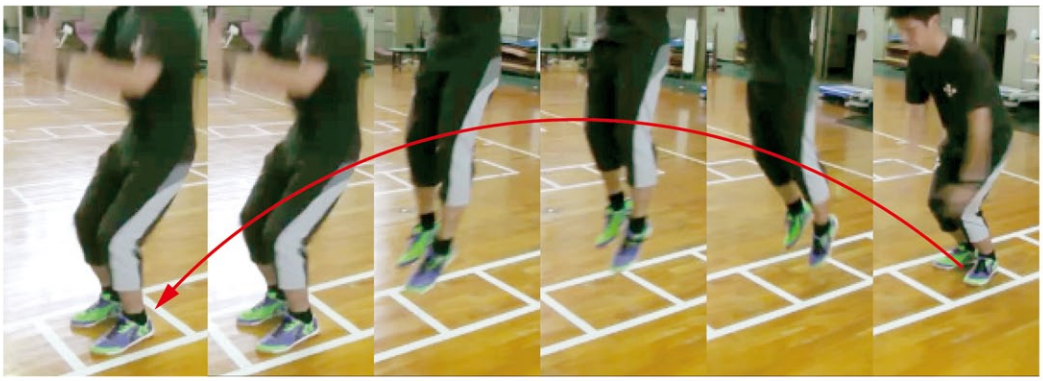
SAQ
Speed Agility Quickness
トレーニング

高度専門教育訓練センター（研修指導）

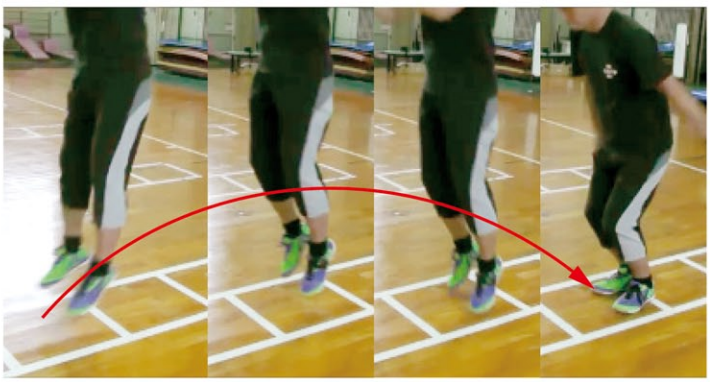
vol.1 ジャンプ＆バック

SAQとは、スピード、アジリティー、クイックネスの頭文字で、1980年代後半にアメリカで誕生したトレーニングである。
スピードは、陸上競技の100mに代表されるように直線的なトップスピードを指し、アジリティーは、敏捷性のことで、素早い方向転換や切り返し、左右や後方への速い移動のことを指す。この動きはサッカー、バレーボール、バスケットボール、格闘技など多くのスポーツで頻繁に行われる動作である。クイックネスは、素早さのことで、静止状態からの速い反応と動作のことを指し、最初の数歩をいかに無駄なくスムーズに加速をするか、野球の盗塁が最も分かりやすい例である。
SAQは、遊びの要素が多く盛り込まれ、楽しみながら体幹やバランス能力を向上することができ、障害予防に効果があることが確認されている。省スペースでトレーニングでき、子供から大人まで体力に見合った強度で実施できるのもSAQの利点である。

1

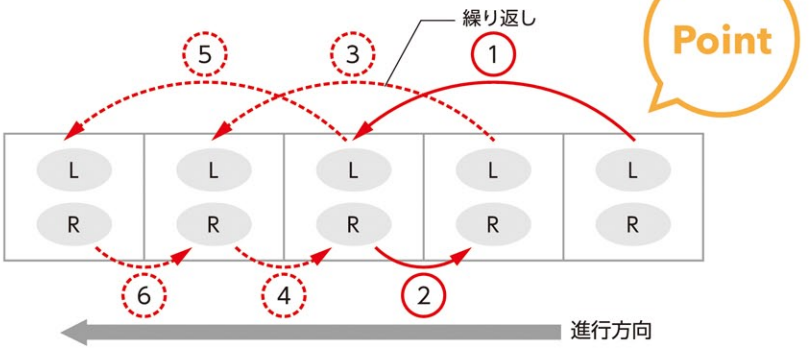


2



1 両足跳びで一気に2マス前進し、
2 1マス後退します。

We can do it!



Point

vol.133

健康ダイアリー

総務部 人事課

尿酸値が高い！

尿酸とは

プリン体の最終代謝産物（燃えカス）で、尿酸という形で排泄されます。体内の尿酸プール（総量）に貯蔵されており、産生と排泄により、毎日入れ替わり一定量に保たれています。体内で合成されるプリン体（約80%）食品から供給されるプリン体（約20%）です。

高尿酸血症とは

7.0mg／dl以上で高尿酸血症と診断されます（30歳以上の男性の約30%）

6.0 【青信号】 治療目標（痛風発作の既往がある人）
7.0 【黄信号】 生活習慣改善が必要です
8.0 【赤信号】 治療開始

〈 3 タ イ プ 〉



痛風治療は痛みをなくすことではなく尿酸値を下げ、合併症を防ぐこと！

○尿路結石・腎障害を起こすこともあります。
○高尿酸血症は高血圧症を併発しやすく、将来、心筋梗塞・脳卒中などのリスクが高くなります。

夏は熱中症や脱水症状と共に高尿酸血症・痛風のリスクも高まります！

運動、訓練などで大量に汗をかき、水分やミネラルが失われると尿量が少なくなり非常に濃い尿が排泄されます。尿酸は尿と一緒に捨てられます。水分補給不足などで尿量が減ると、排泄しにくい状態となり、尿酸が血液中に増えて高尿酸血症・痛風のリスクが高くなります。

生活習慣を見直しましょう！

○プリン体のみの制限より食事全体を見直しましょう
　＊尿をアルカリ化する食品を積極的に摂りましょう！（海藻・大豆製品・さつまいも・ごぼう・人参など）
○適正カロリーを守り食べ過ぎに注意しましょう（肥満解消！）
○アルコールは適量にしましょう
○水分を十分に摂りましょう（1日約2リットル以上を目安に！）
○適度な有酸素運動を続けましょう
○ストレスを上手に発散しましょう

健康診断の結果で尿酸値が高い方、生活習慣を見直しても高い方は、医師にご相談ください！

〈平成28年度〉「防火・防災図画」の募集について

テーマ　消防（火災を消す、火災を予防するなど）に関すること、自分が日頃から災害（火災、地震など）に備えていることや様子など

応募資格　大阪市内の小学校に通う児童

応募要領
- ◆大きさは市販の四つ切サイズ（約380㎜×約540㎜）またはＢ３判とし、用紙、画材は自由とします。
- ◆応募作品の制作は、横長に描き「文字」は書込まないでください。
- ◆お一人様１点とし、未発表かつ他のコンクール等に出品していない作品に限ります。
- ◆図画の裏面に学校名（ふりがな）、学年、組、氏名（ふりがな）を明記して通っている小学校で取りまとめ、所轄消防署へ提出してください。
- ◆応募された作品への回答は行いません。
- ◆入賞作品の版権は、大阪市消防局に帰属します。

募集期間　平成28年7月6日（水）～9月6日（火）

賞
- ◆優秀作　　３２点（賞状及び記念品）

※協力協賛団体による特別賞を含む（賞状及び記念品）
- ◆佳　作　　１００点（賞状及び記念品）
- ◆努力賞　　２００点（賞状及び記念品）
- ◆参加賞　　応募総数（記念品）


前回のポスター及びパンフレットに使用した作品

発　表　１０月中旬、所轄消防署担当者により各小学校を通じて、入賞者及び保護者に直接お知らせします。

表彰式　平成２８年１１月６日（日）予定　（優秀作品３２点）

問合せ先　大阪市消防局予防部予防課　TEL　06-4393-6332　FAX 06-4393-4580

主　催　大阪市消防局

〈平成28年度〉大阪市防火標語決定！

「大阪市防火標語」を募集していましたが、このたび応募作品６８８点の中から厳正な審査の結果、入賞作品８点（特選１点、入選２点、佳作５点）が決定しました。

今回の特選標語は、坂井（さかい）　春仁（はるひと）　さん（生野区在住）の

まかしとき　地域でつなぐ　防火の輪

に決定しました。なお、特選防火標語につきましては、平成２８年秋の火災予防運動（１１月９日～１１月１５日）から１年間、平成２８年度大阪市防火標語として、防火ポスターや各種啓発品などに使用させていただきます。

多数のご応募ありがとうございました。

親睦会だより
第56回三都市消防親善ボウリング大会
大阪市消防職員親睦会

大阪市消防職員親睦会ボウリングクラブ

第56回京阪名三都市消防親善ボウリング大会が、6月7日（火）大阪の「弁天町グランドボウル」において選手30名の参加のもと盛大に開催されました。

大阪の柳生ボウリング部長の挨拶に続き三都市サークル部長による始球式で熱戦の火ぶたが落とされました。

前・後半3ゲームずつの6ゲームの得点で争う個人戦と5名30ゲームの得点で争う団体戦が行われ、普段の練習の成果を出そうと必死の戦いが展開されました。

前半終了時点で大阪Aが京都Aに23点のリードと僅差ながら首位、6年ぶりの優勝にむけて好スタートを切りました。しかし、後半戦に入ると、柳生部長が得点を伸ばすも、各選手得点が伸びず、京都に97点の差を付けられて無念の2位に終わりました。

個人戦では不破（住之江）が3連覇を懸けて出場、前半は首位と40ピン差の3位と好位置に付けましたが、後半は思ったように得点を伸ばせず、京都の吉岡選手が32ピン差で逃げ切り初優勝を遂げました。

そんな中で期待の新星が出現か!? 名古屋Bチームの助っ人として、急きょ出場した中山（東住吉）が最終ゲームで278点の高得点を叩き出しハイゲーム賞を獲得しました。

試合後、成績発表と表彰の後、次回開催市名古屋のサークル会長の挨拶があり三都市の親睦を深めるなか、来年の再会と健闘を誓い散会しました。

成績

団体戦

優勝　京都A　5997点
準優勝　大阪A　5900点

個人戦

優勝　吉岡（京都）
準優勝　不破（住之江）
3位　野中（名古屋）

ハイゲーム

中山（東住吉）　278点

ハイシリーズ

吉岡（京都）　684点

大阪市参加職員

柳生（平野）
山本（此花）
大林（大正）
坂本　向井（淀川）
中西　宮本　水口（東成）
俣野（城東）
不破　藤本（住之江）
大野　福田（住吉）
中山（東住吉）
松田（水上）

・・・・・お知らせ・・・・・

大阪市消防局　メールマガジン会員募集

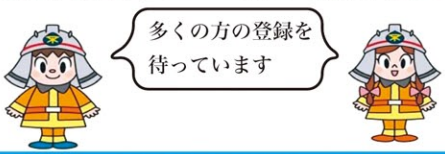
地域の防火・防災に関する情報をメールマガジンで配信！

大阪市消防局では、地域の防火・防災に関する情報を提供し、市民の皆様と情報交換を行うことにより、安心して暮らせる「災害のない安全なまち」「災害に強いまち」の実現を図るため、メールマガジンを配信いたします。

◆　配信内容
（1）各種行事のご案内
（2）地域の防火・防災からのご案内　他

詳しくは、大阪市消防局ホームページをご覧いただき、会員登録を行ってください。

大阪市消防局ホームページ
http://www.city.osaka.lg.jp/shobo/



お問合わせ先：大阪市消防局予防部　予防課地域防災
電話番号：06（4393）6332

表彰

（平成28年6月30日付け）

賞与

火災防ぎょ活動

阿倍野消防署　1部阿倍野小型タンク小隊
消防司令補　阪本　佑也
消防士長　吉川　久嗣

消防士長（現　北消防署）　谷口　隆常
消　防　士　谷　翔平

東住吉消防署　1部北田辺小型タンク小隊
消防司令補　林　孝司
消防士長　山川　教一
消防士長　松尾　智
消　防　士　辻　啓太

東住吉消防署　1部杭全小型タンク小隊
消防司令　領家　正典
消防士長　辻川　侑宏
消　防　士　中西　詠一
消　防　士　千原　卓也

平成28年2月15日、阿倍野区の木造2階建住宅兼店舗で発生した火災現場において、現場到着時、火炎が激しく噴出する中、路上や屋内に進入し放水を実施し、延焼危険が大きかった南面の延焼を的確に阻止した功績による。

火災防ぎょ活動

警　防　課　麻野　博之
技術職員　黒田　亮治
技術職員　米澤　賢也
消防司令補　烏野　禎朗
消防士長　蓮池　潤

阿倍野消防署　2部阪南小型タンク小隊
消防司令　松田　正人
消防士長　西川　知孝
消防士長　榮井　悠祐
消防士長　小林　佑樹

消防士長（現　城東消防署）

平成28年2月28日、東住吉区の木造2階建住宅で発生した火災現場において、現場到着時、火炎が激しく噴出する中、阿倍野特別救助隊が建物南側から進入。北側窓から要救助者に対して冷却保護を行っていた阪南小型タンク小隊と連携し、2階の要救助者2名を屋内階段を使い、安全かつ迅速に救出した功績による。

救急活動

生野消防署　1部巽救急隊
消防司令補　樋口　亮
消防士長　山西　大樹
消防士長　髙園　愛士

生野消防署　1部巽小型タンク小隊
消防司令補　林　秀喜
消防士長　中村　圭佑
消　防　士　桑村　和匡
消　防　士　畑中　隆徳

平成27年12月25日、生野区で発生した救急事案において、現場到着時、傷病者は家族によりＣＰＲが施されていた。直ちにＣＰＲを引き継ぐとともに、心電図を確認、除細動を実施した。薬剤投与とＬＴＳによる気道確保を実施、心拍の再開が確認されたため、人工呼吸のみを継続しながら、適切に傷病者管理を行い医師に引き継ぐなど、2隊で連携をとりながら迅速かつ的確に救命処置を実施した功績による。

救急活動

阿倍野消防署　1部阿倍野第2救急隊
消防司令補　玉宅　祥人
消防司令補　我妻　智樹
消防士長　釜永　將行

阿倍野消防署　1部阿倍野小型タンク小隊
消防司令　濱澤　美和
消防士長　谷口　隆常
消　防　士　谷　翔平
消　防　士　山際　洋平

（現　天王寺消防署）

平成28年1月9日、阿倍野区で発生した救急事案において、現場到着時、傷病者は飲食店内で家族によりＣＰＲが施されていた。直ちにＣＰＲを引き継ぎ、口腔内を確認し食物残渣を吸引した。薬剤投与とＬＴＳによる気道確保を実施、自発呼吸と心拍の再開を確認したため、補助呼吸に切り替え、適切に傷病者管理を行い医師に引き継ぐなど、2隊で連携をとりながら迅速かつ的確に救命処置を実施した功績による。

救急活動

住吉消防署　2部苅田救急隊
消防司令補　岡本　直人
消防士長　飯田　啓紀
消防士長　迫田　宗大

平成28年1月30日、住吉区で発生した救急事案において、現場到着時、傷病者は卓球場に倒れており、心肺停止状態であった。直ちにＣＰＲを開始するとともに、心電図を確認、除細動を実施した。ＬＴＳによる気道確保と静脈路確保を実施、自発呼吸と心拍の再開を確認したため、補

火災現場における救助活動

阿倍野消防署　2部阿倍野特別救助隊
消防司令　山中　勉
（現　警防課）
消防司令補　中家　直樹
消防士長　前田　和孝

平成28年4月1日、西区の3階建住宅兼飲食店で発生した火災において、広報車で走行中に黒煙を発見し、直ちに車両を停止させ、１１９番通報と付近へ聞き込みを実施した。また、消防隊到着までの間に、玄関ドアを破壊し屋内進入、初期消火を行うなど、被害を最小限におさめた功績による。

火災現場における救助活動

中央消防署　1部南阪町救助隊
消防司令　池邉　賢一
（現　司令課）
消防司令補　下川　浩史
消防士長　福留　充泰
消　防　士　寺西　亮輔

浪速消防署　1部浪速救助隊
消防司令　藤田　孝行
（現　司令課）
消防司令補　木下　雄支
消防士長　西村　健作
消防士長　林　晃久

（現　淀川消防署）

平成28年2月17日、中央区の6階建住宅兼飲食店で発生した火災現場において、2隊は連携をとり、3階の出窓内の要救助者を救出した。また、煙が充満する5階の検索を実施し要救助者を発見し、地上へ安全かつ迅速に救出した功績による。

火災現場における救助活動

阿倍野消防署　2部阿倍野特別救助隊
消防司令　山中　勉
（現　警防課）
消防司令補　中家　直樹
消防士長　前田　和孝

助呼吸をしながら搬出し、適切に傷病者管理を行い医師に引き継ぐなど、迅速かつ的確に救命処置を実施した功績による。

救急活動

中央消防署　1部中央救急隊
消防司令　垣野　裕
（現　城東消防署）
消防士長　堀田　明裕
（現　西消防署）
消　防　士　末永　拓海

平成28年3月5日、中央区で発生した救急事案において、現場到着時、傷病者は室内に倒れており、心肺停止状態であった。直ちにCPRを開始するとともに、心電図を確認し、除細動を実施した。LTSによる気道確保を実施、心拍の再開を認めたため、人工呼吸を行いながら搬出。搬出中に自発呼吸を確認したため、補助呼吸に切り替え搬出し、適切に傷病者管理を行い医師に引き継ぐなど、迅速かつ的確に救命処置を実施した功績による。

救急活動

東住吉消防署　2部杭全救急隊
消防士長　竹内　龍三
消防士長　黒川　光
消防士長　篠田　雅弘

平成28年3月16日、平野区で発生した救急事案において、現場到着時、傷病者は室内に倒れており心肺停止状態であった。直ちにCPRを開始するとともに、心電図を確認し、除細動を実施した。活動スペースが狭隘ななか、LTSによる気道確保と薬剤投与を行い、救急車内に収容。自発呼吸と心拍の再開を確認したため、補助呼吸を実施、再び心停止になったため胸骨圧迫を再開し、心拍を再開させ、適切に傷病者管理を行い医師に引き継ぐなど、迅速かつ的確に救命処置を実施した功績による。

警防活動に付帯する活動

司　令　課　1部指令情報センター
消防士長　中野　裕嗣

平成28年5月7日、都島区で発生した火災事案の119番の受信時において、迫りくる黒煙により逃げ場を失った通報者から冷静に発生場所を聴取し消防隊を出場させるとともに、ベランダへの避難誘導を行った。また、低い姿勢や衣類等で口を覆う呼吸法を指示し、さらに火元ベランダから安全な隣室のベランダに誘導するなど、通報者の安全迅速な避難に貢献した功績による。

救急活動に付帯する活動

司　令　課　2部指令情報センター
消防司令補　吉村　大三

平成28年2月27日、平野区で発生した救急事案の119番の受信時において、通報内容から高齢者の喉詰めと判断し、救急隊を速やかに出場させた。また異物除去を試みたものの取り出すことができずにいた通報者に対して、あきらめずに異物除去を行うように促し、除去を成功させた。その後救急隊が到着したときには正常に会話できるまで回復させるなど、傷病者の容態回復に寄与した功績による。

予防業務の推進

住吉消防署　予防担当
消防司令補　後藤　卓八
消防士長　宮田　貴之

特定防火対象物の重大違反を早期にすべて是正させた。また、重大な消防法令違反が長期間にわたり継続している非特定防火対象物に対して、その原因を調べ、違反是正を推し進めた。特に人命危険が大きいと認められる場合には重点的に指導し強く是正を推し進めるなど、市民の安全確保に寄与し、予防業務を推進させた功績による。

予防業務の推進

東淀川消防署　予防担当
消防司令補　安達　尚弘
（現　予防課）
消防士長　兼田　祐毅
消　防　士　森内　彩

重大違反対象物を一掃するために、対象物ごとに効果的な指導方法を協議するとともに、情報共有を徹底し、是正機会を逃さない体制を整備した。また、粘り強い指導と丁寧な説明により、重大な消防法令違反を有する対象物で立入検査計画に定める特定防火対象物を全て是正させるなど、市民の安全確保に寄与し、予防業務を推進させた功績による。

非番日等における救助活動

西消防署　警防担当
消防司令補　山谷　勇樹

平成28年1月30日、兵庫県三田市で発生した救助事案において、低気温のなかバイクの事故で河川に転落した要救助者に対し、迅速的確に観察と情報収集を行い、通行人に適確に通報するように依頼した。消防隊到着までの間、身を呈して体温管理を行い要救助者を支え続け、到着した消防隊と協力して救出するなど、勤務時間外においても消防職員としての使命感と知識、技術を発揮し人命の救護に貢献した功績による。

非番日等における救助活動

予　防　課　予防担当
消防司令補　北田　真一

平成28年4月20日、東淀川区の淡路駅で発生した救助事案において、線路上に転落した要救助者に対し、列車の往来がないことを確認すると、線路内に降り、駅員と協力してホームへと救出した。また、適切に観察を行い止血を行うなど、勤務時間外においても消防職員としての使命感と知識、技術を発揮し人命の救護に貢献した功績による。

非番日等における救助活動

此花消防署　警防担当
消防司令　荒木　和敏

平成28年4月20日、兵庫県神戸市で発生した救急事案において、ホテル前の停車しているタクシーの中で仰臥位で倒れている傷病者を観察し、直ちにCPRを開始した。すでに119番通報はされていたため、ホテル従業員にAEDの手配を依頼し、AEDが到着すると除細動を行い、自発呼吸と心拍の再開を確認したため傷病者管理を適切に行い到着した救急隊に引き継いだ。勤務時間外においても消防職員としての使命感と知識、技術を発揮し人命の救護に貢献した功績による。

大阪めぐり　表紙絵



四天王寺（布袋堂）

四天王寺の極楽門に向かって右手前に、乳のおんばさんと呼ばれている布袋堂がある。大きな袋を担いで、ふくよかな表情の布袋さん。その福々しいイメージが愛情たっぷりの母親像と重なるのでしょうか、乳の出が良くなるご利益を授かるために、数多の参拝客が訪れて、お堂の入り口には、「お乳が出ますように」との願いを込めて書かれた絵馬も掛けられてある。

そもそも布袋堂は、聖徳太子の乳母を祀ったのが始まりではないかと言われ、曽我馬子の娘の日益（ひます）、小野妹子の妹の月益（つきます）、物部守屋の妹の玉照の三人が聖徳太子の乳母として有名です。

布袋堂の前には、「なで布袋尊」。「びんずる尊者」のように光り輝く布袋尊。ご利益に授かりたい場所をなで回します。お腹の「福」は福を呼び、背中の「黄金袋」は財を呼び、手に持つ「瓢箪」は縁起物ですね。「瓢箪から駒」という諺があるように諸願成就に結実する。気が長い、穏やかな性格をしておられるという布袋さんは、あらゆることを受け止めてくれる母親像と重なって、まさしく吉運尽くしの布袋さんです。



お目当ての布袋堂の乳布袋像は、なで布袋尊の奥に鎮まっておられ、昭和20年3月13日の大阪大空襲の時に、四天王寺の境内のほぼ全域が灰燼に帰した時に布袋堂も焼失し、石造の布袋尊は真っ黒に焼けたお姿になられて現在に伝わっている。

編集室

今月は和太鼓で有名な「太鼓正」の社長さんにインタビューをお願いした。長胴太鼓、神楽太鼓や楽太鼓、様々な太鼓がありますが、どの太鼓も大木をくりぬき、牛皮を日干しにして乾燥させるために年月を掛けた材料を、職人さんが技を込めて作られる太鼓は、一つとして同じものがないということをお聞きした。

悠久の昔から太鼓の音色に親しんできたDNAが、インタビューの途中に聞こえて来た皮締めの作業の音にうずうずとしてきた。邪魔にならないように写真を撮らせてもらいながら、息ピッタリの職人さんの桴さばきに見とれていた。

最後に、6尺もある大太鼓を叩かせてもらったが、バットのような桴で叩くと迫力の響きに圧倒されたが、プロの名人が叩くとどんな音色になるのだろうか……と、大太鼓を見上げた。

時報なる大噴水のきらめきて　（高）

＊

関西に在住している全卒業生が対象の同窓会があり、私も参加した。

中学時代に一緒にバレーボールをやっていた2年後輩の彼が、母校で校長を勤めて数年前に退職し、今回招待され参加してくれた。

その彼が、私たちのテーブルで同級生に「私がクラブの中で背が高く、センターからのアタックがすごかった」と、バレーボールの話で大いに盛り上がり当時の思い出話に花が咲いた。

1次会も終わり同級生だけで2次会へとながれ、来年も会えることを楽しみに解散した。　（利）

＊

本号が発行になる頃には、リオデジャネイロ五輪が始まっているでしょう。

前回の五輪が2012年で、大阪消防誌もこの年に発行形態を変更し、早いものでもう4年が過ぎました。

今回の大会で気になる種目は、何といっても男子体操につきると思う。事前の下馬評どおり、代表選手全員がメダルを獲得できる実力があり個人と団体で金メダルを目指して欲しい。

普段スポーツに興味がないという方も、オリンピックは楽しみにしているという方も多いと思う。期間中、競技の内容を毎日欠かさずにチェックするつもりだ。　（陸）

大阪消防

平成28年8月号　第67巻第8号　通巻第797号

発　　行　大阪消防清風会
企画・監修　大阪市消防局
編　　集　大阪市消防局企画部企画課内
大阪消防編集部
〒550-8568 大阪市西区九条南1-12-54
ＴＥＬ　06-4393-6036
ＦＡＸ　06-6582-2864
Eメール　taka-yamano@city.osaka.lg.jp
年間購読料　年間4,560円
（消費税・送本手数料含む）
制作・販売　株式会社サイネックス

※本誌に掲載されている内容の転載、転用を希望される時は、編集部までご連絡ください。

AEDで、ひとりでも多くの命を救えたら――。

AEDはフクダ電子



より身近に・より簡単に使用できることをめざしたAED!

AED（自動体外式除細動器）

ハートスタートHS1+

HEARTSTART HS1+

医療機器承認番号:21700BZY00426000
製造販売業者:株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
高度管理医療機器　特定保守管理医療機器

電気ショックが必要かどうかをAEDが判断

音声による操作ガイダンス

小型・軽量（1.5～2kg）で持ち運びが容易

AEDは救命処置のための医療機器です。AEDを設置したら、いつでも使用できるように、AEDのインジケーターや消耗品の有効期限などを日頃から点検することが重要です。

AED設置者及び管理者は品質保証及び安全管理の為、以下の内容の確認をお願いいたします。

1.AED設置の際はAED管理者を設置し、製造販売業者の推奨する保守点検を行い、いつでも使用できる状態に管理する事。特に電極パッド・バッテリの使用期限の確認及び、期限内の交換は確実に実施する事。
2.AED設置者及び管理者は、AED管理表示ラベル上に明記された消耗品等の使用期限を確認する事。
3.AED設置者及び管理者は、AEDに不満の事態が発生した時及び、譲渡時（高度管理医療機器等販売業の許可業者に限る）、廃業時には、製造販売業者又は販売業者等の連絡先に連絡する事。製造販売業者又は販売業者からの情報提供方法等（交換時期のお知らせ等）について確認する事。
4.電極パッドは使い捨てなので、再使用する事は禁止である。
5.導入の際には必ず添付文書をご確認ください。

小児等への適用

●未就学児の小児に対して成人用の除細動エネルギーを印加することについては、小児用にエネルギーを減衰できる機構を持った自動体外式除細動器が近くにないなど、やむをえない場合に限り使用すること。
●小児に使用する場合には2枚の除細動パッドが触れ合うことのないよう注意すること。
●JRC（日本版）ガイドライン2010では、未就学児（およそ6歳）以下の小児への使用を推奨しています。

FUKUDA DENSHI

〒113-8483 東京都文京区本郷3-39-4 TEL（03）3815-2121（代） http://www.fukuda.co.jp/
お客様窓口…☎（03）5802-6600／受付時間:月～金曜日（祝祭日,休日を除く）9:00～18:00
●医療機器専門メーカー　フクダ電子株式会社

防犯 防火 防災 のことなら

防災相談所へ



■ 防犯、防火、その他防災に関するご相談をお伺いしています。

相談無料

■ 防犯ブザーなどの防犯機器、住宅用火災警報器などの防災グッズを展示・紹介しています。

電話によるご相談にも応じています

一般社団法人 大阪府防災通信協会
防　災　相　談　所

〒540-0012
大阪市中央区谷町2丁目3番8号 ピジョンビル1階
TEL・FAX (06)6946-1060

この国の伝統を紡ぐ婚礼の儀

住吉結び



住吉大社吉祥殿

TEL.06-6675-3591

www.sumiyoshitaisha.com